N-04B

取扱説明書　’10.5

ドコモ W-CDMA･GSM ／GPRS･ 無線LAN方式

このたびは、「docomo PRIME series N-04B」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

N-04Bをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

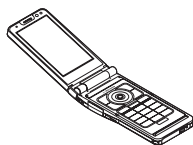
N-04Bの操作説明について

N-04Bの操作は、本書のほかに、「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

- **「取扱説明書」（本書）：画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明します。**
- **「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）：よく使われる機能の概要や操作について説明します。**
  N-04Bの待受画面で MENU ▶「便利ツール」▶「使いかたガイド」
- **「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）：すべての機能の詳しい案内や操作について説明します。**
  パソコンから:ドコモのホームページでダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品について

■ 本体付属品

N-04B
（保証書、リアカバー N44含む）

N-04B取扱説明書（本書）

電池パック N16

N-04B用CD-ROM

■ 本FOMA端末に対応したオプション品について→P.87

本書のご使用にあたって

- 本書では「N-04B」を「FOMA端末」と表記させていただいております。
- 本書の手順や画面は、主に本体色「White Motion」のお買い上げ時の設定で記載しています。また、本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で、背景を白、文字を黒にして記載しています。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

目次

FOMA端末について

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末のFOMA通信は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。The FOMA communication for the FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、テレビ電話メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

N-04Bでできること

使いかたガイド

P.21

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。お手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。

MENU ▶「便利ツール」▶「使いかたガイド」

ロック機能

P.35

安心してFOMA端末をお使いいただけるよう、さまざまなロック機能を搭載しています。

国際ローミング

P.46

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（GSM・3Gエリアに対応）。

オートGPS

P.59

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。

カメラ

P.60

スタイルチェンジでカメラを一発起動、有効画素数約1,220万画素のCMOS（外側カメラ）で、12Mサイズ（3,000×4,000ドット）の大画像もクイックショットで次々と撮影できます。他にも自動シーン判定、ついてくフォーカス、HDムービーなどカンタンキレイに写真が撮れる機能が搭載されています。

iコンシェル

P.73

待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれたり、サイトからスケジュール（iスケジュール）をダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。

「ひつじのしつじくん®」

各部の名称と機能

はじめに

内側カメラ

充電ランプ

マルチファンクションボタン

Ⓤ／Ⓓ：上／下ボタン
・カーソルや表示内容などを上下方向へ移動
・ｉウィジェット画面／電話帳検索メニュー画面を表示

Ⓛ／Ⓡ：左／右ボタン
・カーソルを左右方向へ移動
・着信履歴／リダイヤルを表示

◉：決定ボタン
・ファンクション表示の内容を実行

MENU ボタン
メインメニューを表示します。

✉ ボタン
メールメニューを表示します。

開始ボタン
通話を開始します。

ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力します。

＊／公共（ドライブモード）ボタン
公共モードに設定します。

照度センサー
明るさを感知します。手で覆ったり、シールを貼らないでください。

受話口
相手の声はここから聞こえます。

ディスプレイ（タッチパネル）

📷 ボタン
静止画撮影画面を表示します。

ｉ ボタン
ｉ Menu・検索を表示します。

CLR 戻る（クリア）ボタン／ｉチャネルボタン
・操作を1つ前の状態に戻したり、入力した文字を削除します。
・ｉチャネルを表示します。

電源／終了／応答保留ボタン

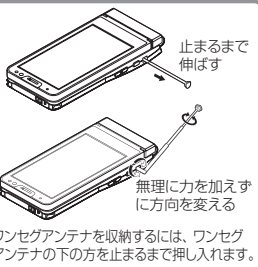
#／マナーボタン

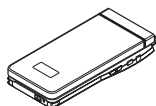
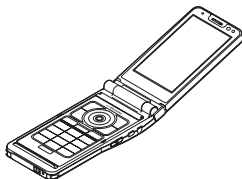
MULTI マルチボタン
TASK MENU画面を表示します。

送話口／マイク

<イヤホンのご利用について>
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

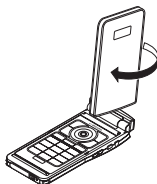
充電ランプ／
着信イルミネーション
背面ディスプレイ
時計やFOMA端末の各種状態
が表示されます。
FOMAアンテナ
FOMAアンテナは本体に
内蔵されています。アン
テナ部を手で覆わないよ
うにしてお使いください。
ライト、撮影ランプ
外側カメラ
赤外線ポート
スピーカ（モノラル）
マーク
ICカード読み取りや
ｉＣ通信ができます。
12.2M PIXELS AF HD
microSD
リアカバー
ワンセグアンテナ
止まるまで
伸ばす
無理に力を加えず
に方向を変える
ワンセグアンテナを収納するには、ワンセグ
アンテナの下の方を止まるまで押し入れます。
充電端子
ストラップ取付穴
外部接続端子
充電やイヤホン接続などに
使う端子です。
microSDカードスロット
N-04B
画面ロックボタン
タッチスタイル時の誤動
作を防ぎます。
音量大ボタン／［マナー］
受話音量を上げたり、
マナーモードを設定します。
音量小ボタン／［☼］
受話音量を下げたり、
ライトを点灯します。

N-04Bのスタイルについて

本FOMA端末は、閉じた状態、開いた状態（コミュニケーションスタイル）、ディスプレイを回転させ外向きにして閉じた状態（タッチスタイル）で利用できます。

閉じた状態

コミュニケーションスタイル

タッチスタイル

- 本書では、操作の説明を主にFOMA端末を開いた状態（コミュニケーションスタイル）で行っています。タッチ操作ができる場合でも、ボタン操作を優先して記載しています。

タッチスタイルに切り替える

ディスプレイを途中でロックされるところまで開く

ディスプレイを右回りに180度回転させる

ディスプレイを閉じる

タッチスタイルのときは、[鍵]を押すと画面ロックが設定されて閉じた状態と同じ状態になり、誤動作を防ぐことができます。

ディスプレイ回転時のご注意

- 無理にディスプレイを回転させたり、無理な力を加えると、FOMA端末が壊れることがあります。
- 左方向に回転させたり、180度以上回転させることはできません。
- ディスプレイを回転させるときは、指を挟まないようにご注意ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2. FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には保護フィルムを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。この保護フィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

保護フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションコントロールやモーショントラッキングのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
→P.13「材質一覧」

指示

FOMA端末を開閉する際（スタイルを切り替える際）は、指や手のひら、ストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタの取り扱いについて

警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

5. FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源をを切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ 材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂／ UVコーティング処理
	ボタン面	
	背面ディスプレイ面	PC樹脂／ UVコーティング処理
	電池面	
	リアカバー	
	ネジ	鉄／ニッケルメッキ処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／飛散防止フィルム処理
背面ディスプレイパネル		アクリル樹脂／ハードコート
ディスプレイ面ヒンジ部		ナイロン樹脂／ UVコーティング処理
背面ディスプレイ面ヒンジ部		PC樹脂／ UVコーティング処理
ヒンジ部パネル		PC樹脂／すず蒸着、UVコーティング処理※1 PC樹脂／ UVコーティング処理※2
受話口パネル		PC樹脂／ UVコーティング処理
ディスプレイ側回転摺動パッド		エラストマー樹脂
ボタン	マルチファンクションボタン	アルミ合金／アルマイト着色
	決定ボタン周り	ステンレス合金
	サイドボタン	PC樹脂／ UVコーティング処理
	その他のボタン	PET樹脂／セラミックス蒸着、ＵＶコーティング処理
ボタン周囲シート		PET樹脂／ハードコート
突き当てパッド		シリコンゴム
外側カメラパネル		アクリル樹脂／ハードコート
ライトパネル		
赤外線ポートパネル		PC樹脂／ UVコーティング処理
外部接続端子キャップ		PC樹脂、エラストマー樹脂／ UVコーティング処理
microSDカードスロットキャップ		
充電端子		ステンレス合金／金メッキ処理
ワンセグアンテナ	上段	チタンニッケル合金
	中段	ステンレス合金
	下段	
	根元ヒンジ部	
	先端キャップ	ABS樹脂
電池パック収納部	収納面	ステンレス合金／ニッケルメッキ処理
	内部フレーム	PC樹脂
	FOMAカード押さえカバー	ステンレス合金
	ネジ	鉄／ニッケルメッキ処理
電池端子	電池端子コネクタ本体	ナイロン樹脂
	端子部	チタン銅／金メッキ処理
電池パック	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂 ラベル：PET樹脂
	端子部	ガラスエポキシ樹脂／金メッキ処理

※1：本体色 Black Motion、Red Motionに使用しています。
※2：本体色 White Motionに使用しています。

取り扱い上の注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子（イヤホンマイク端子）キャップ、microSDカードスロットのキャップをはめた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
  故障、破損、誤動作の原因となります。

- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本または3本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。
- **卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。**
  けがなどの事故や破損の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- **FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- **FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）**
- **周波数帯について**
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4　FH　1

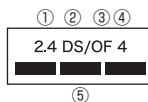
2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
▬▬▬　：2400MHz ～ 2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LANについて

- **電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。**
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

①　②　③④
2.4 DS/OF 4
⑤

① 2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS　：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF　：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▬▬▬　：2400MHz ～ 2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについて

- **FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は 13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

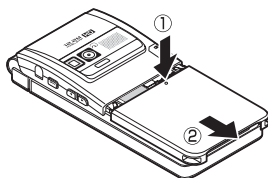
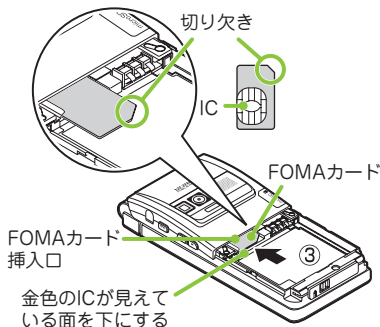
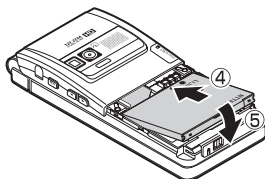
注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **ICカード認証機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

FOMAカード・電池パックの取り付けかた

FOMAカードや電池パックの取り付け、取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、FOMA端末を閉じた状態で手で持ったまま行ってください。

・FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
・本FOMA端末では、FOMAカード（青色）はご使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

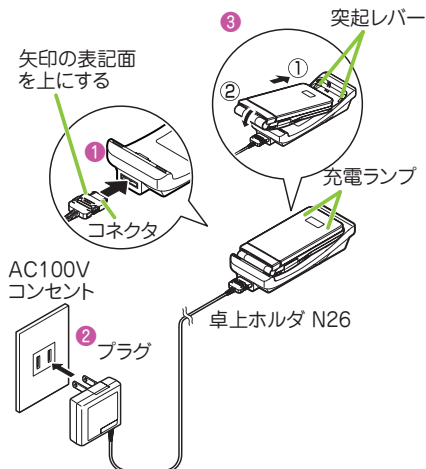
❶ **リアカバーを取り外す**
①の方向へ押しつけながら②の方向へスライドさせます。

❷ **FOMAカードを取り付ける**
FOMAカードの金色のIC面を下にして、FOMAカード挿入口に固定されるまで③の方向へ奥まで差し込みます。

❸ **電池パックを取り付ける**
電池パックの製品名が書かれている面を上にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように④の方向に取り付けて、⑤の方向へはめ込みます。

❹ **リアカバーを取り付ける**
リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末の溝に合わせ、⑥の方向へ押しつけながら⑦の方向へ「カチッ」と音がするまでスライドさせて押し込みます。

充電のしかた

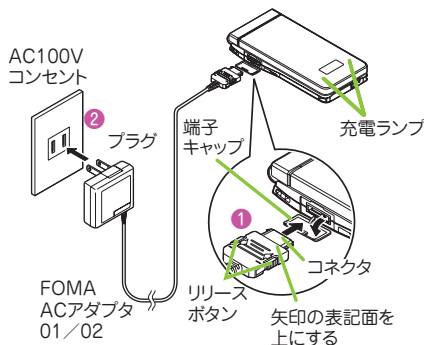
充電にかかる時間や連続して通話できる時間は、「主な仕様」(→P.94)をご覧ください。

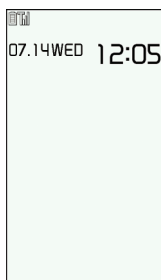
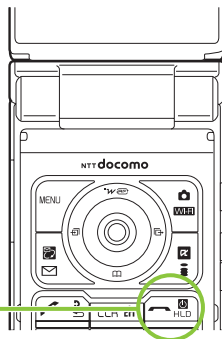
卓上ホルダを使って充電する

❶ ACアダプタ（別売）のコネクタを卓上ホルダ（別売）側面の端子に水平に差し込む
❷ ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
❸ 卓上ホルダを押さえながら、卓上ホルダの突起レバーにFOMA端末を①の方向に押し込み、②の方向にカチっと音がするまでしっかりと取り付ける
- 取り付ける際は、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。
- 充電を開始すると、充電ランプが点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です。（フル充電）

❹ 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を取り付けた時と逆の手順で取り外す

ACアダプタを使って充電する

❶ 外部接続端子の端子キャップを開け、ACアダプタのコネクタを外部接続端子に水平に差し込む
❷ ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
❸ 充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタのコネクタをFOMA端末から水平に引き抜き、ACアダプタのプラグはコンセントから抜く

基本の操作

電源を入れる

1 [電源キー]を1秒以上押します。

待受画面

■ **初期設定画面が表示された場合**

お買い上げ後初めて電源を入れた後は、初期設定画面が表示されます。

■ **電源を切る場合**

[電源キー]を2秒以上押します。

初期設定を行う

お買い上げ後初めて電源を入れたときは、初期設定として「時刻補正」「端末暗証番号の変更」「ボタン確認音」などの設定画面が表示されます。

時刻補正画面　　ボタン確認音設定画面

- 初期設定ではこのほかに、時差補正、文字サイズ、位置提供、ニューロポインター設定（簡易設定のみ）を設定できます。
- すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されなくなります。

自分の電話番号を確認する

プロフィール画面でお客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を確認できます。

1 MENU ▶「プロフィール」

■ メールアドレスを確認する場合

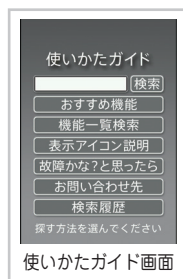
- プロフィール画面には、お買い上げ時は電話番号のみ登録されています。メールアドレスは直接入力するか、ｉモードから次の手順で自動的に取得できます。
  プロフィール画面で 📷［編集］ ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ <メールアドレス> ▶「自動取得」▶ ｉモードに接続され、メールアドレスが <メールアドレス> 欄に自動的に入力される ▶ 📷［完了］ の順に操作します。
- メールアドレスの変更方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

「使いかたガイド」で機能や操作を確認する

知りたい機能があるときは、「使いかたガイド」で操作方法を確認できます。お手元に取扱説明書がないときにすぐに調べられます。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「使いかたガイド」

2 キーワードを入力または探す方法を選択

使いかたガイド画面

画面の説明

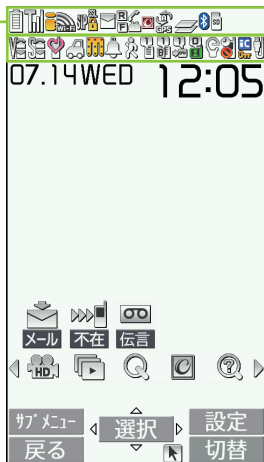
ディスプレイ・アイコンの見かた

ディスプレイや背面ディスプレイに表示されるマーク（など）をアイコンといいます。
アイコンは、FOMA端末の状態や受信状況などを示しています。

■ FOMA端末の状態を示すアイコン

画面上部にはFOMA端末の状態を示すアイコンが表示されます。

電池残量（目安）
：十分残っています。
：充電してください。

電波受信レベル
・FOMA
・Wi-Fi
圏外／
：FOMA／Wi-Fiの電波が届かないところ
：ｉモード中
：未読メールあり
：音声通話中
：ダイヤルロック中
：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
：マルチタスク起動中
：Bluetooth電源オン（点灯）
：microSDカード取り付け時

：バイブレータ設定中
：着信音消去
：マナーモード設定中
：公共モード（ドライブモード）設定中
：アラーム設定中
：音声電話／テレビ電話の留守番メッセージ件数
：テレビ電話伝言メモの件数
：ecoモード1設定中
：キー操作ロック中
：USBケーブル接続時で、通信モード中

ここでは主なアイコンを説明しています。
その他のアイコンの名称は、
MENU ▶「本体設定」
▶「画面・ディスプレイ」
▶「表示アイコン説明」で確認できます。

■ お知らせアイコンとデスクトップアイコン

画面中央には受信状況を知らせるお知らせアイコンが表示されます。デスクトップアイコンを貼り付けて、アイコンから機能を呼び出したりすることもできます。

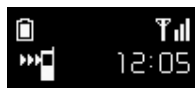
・お知らせアイコンやデスクトップアイコンは、待受画面 ▶ ◉ でアイコンを選択してそれぞれの機能を呼び出すことができます。

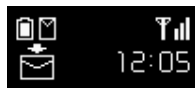
背面ディスプレイの見かた

背面ディスプレイには、電話やメールなどの着信やアラーム通知などがメッセージや画像、アニメーションで表示されます。

不在着信／新着メールを確認する

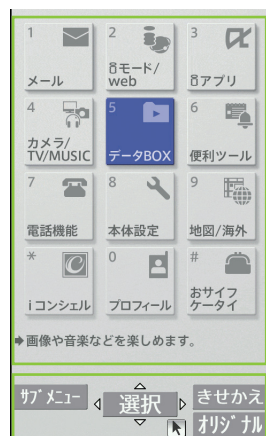
■不在着信の確認

▲［マナー］を押すと、「着信日／着信時間／名前（電話番号）」などが表示されます。

■新着メールの確認

▲［マナー］を押すと、「送信元／受信日時／題名」などが表示されます。「背面ディスプレイ設定」のメール表示を「ON」に設定する必要があります。

MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「背面ディスプレイ設定」▶「ON」▶「メール表示」▶「ON」▶ ［完了］の順に操作します。

メインメニューの見かた

FOMA端末の各種機能はメインメニューから選択できます。

・メインメニューは「スタンダード」の表示で記載しています。

メール	：	メール機能を表示します。
ｉモード/web	：	ｉモード、フルブラウザを表示します。
ｉアプリ	：	ｉアプリメニューを表示します。
ｶﾒﾗ/TV/MUSIC	：	カメラ、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネル、ワンセグのメニューを表示します。
データBOX	：	データBOXのフォルダを表示します。
便利ツール	：	便利な機能を表示します。
電話機能	：	電話帳や発着信履歴などの電話機能を表示します。
本体設定	：	FOMA端末の設定メニューを表示します。
地図/海外	：	GPSや海外設定メニューを表示します。
ｉコンシェル	：	ｉコンシェル画面を表示します。
プロフィール	：	FOMAカードの自局番号などを表示します。
おサイフケータイ	：	ICカードやトルカなどの設定メニューを表示します。

［オリジナル］：オリジナルメニューを表示します。

・メインメニューの中には「LAST10」が表示されるものがあります。「LAST10」を選択すると最近使ったメニュー項目が10項目まで表示されます。

■メインメニューのデザインを変更する

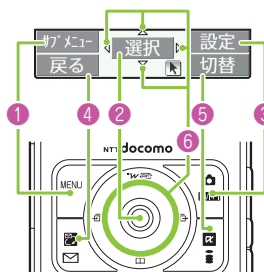
メインメニューのデザイン（背景やアイコンなどの表示スタイル）を変更できます。「Black」～「スタンダード」、「シンプルメニュー」、「オリジナルテーマ」、「きせかえツール」から選択します。

1 ▶   **［きせかえ］ ▶ デザインを選択**

ボタン操作

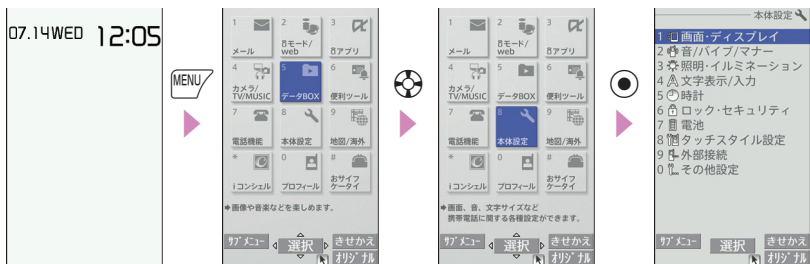
画面には[MENU]、[●]、[カメラ]、[メール]、[iアプリ]に対応するソフトキー（ファンクション表示）と[方向キー]に対応する方向アイコンが表示されます。これらのアイコンは、対応するボタンが使用できるときのみ表示されます。

ファンクションボタンに割り当てられている機能を実行する

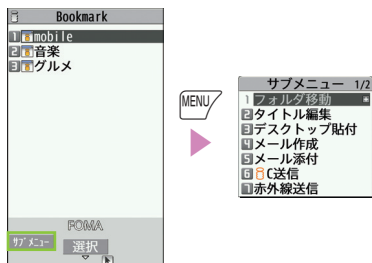
■ 主な表示例とボタンの割り当て

❶には［ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ］［閉］［MENU］などが表示されます。
❷には［選択］［確定］［再生］［発信］などが表示されます。
❸には［設定］［編集］［完了］［デモ］［送信］［新規］などが表示されます。
❹には［戻る］［microSD］などが表示されます。
❺には［切替］［削除］などが表示されます。
❻には上下左右に移動またはスクロールできる方向のアイコン（◁⇳▷）が表示されます。[方向キー]を押すと、その方向に移動またはスクロールします。

メニュー操作

FOMA端末の各種機能は、待受画面で[MENU]を押して表示されるメインメニューから選択できます。

1 [MENU] ▶ [方向キー]で反転表示を移動して[●]［選択］ ▶ 表示されるメニューを順次選択

・メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合、メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

サブメニューが表示されているときは

MENU ボタンを押すと登録や編集、削除など、その画面で操作できる機能が表示されます。

画面の縦表示／横表示の切り替えについて

ワンセグ視聴中やフルブラウザ表示中などに、FOMA端末を90度傾けて横向きにすると、自動で画面表示も横向きに切り替わります。カメラ撮影中やMusic＆Videoチャネルの番組再生中でも傾けると縦／横が切り替わります。

ニューロポインターの使いかた

ニューロポインターをスライドしてポインターを移動させると、アイコンや項目をすばやく選択することができます。また、一覧画面やサブメニューなど、表示している画面が複数のページにまたがる場合は、ニューロポインターを使って前後のページを切り替えることができます。

- 待受画面またはディスプレイの最下段に が表示されているときにニューロポインターをスライドすると、ポインター（ ）が表示されます。

■ ニューロポインターをOFFにする場合

MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「ニューロポインター設定」▶「ポインター表示」▶「OFF」の順に操作します。

タッチパネルの使いかた

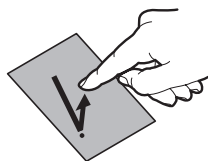
本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっています。指で直接画面に触れてさまざまな操作ができます。

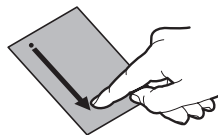
タッチパネル利用上のご注意

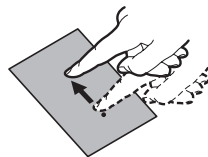
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。
また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

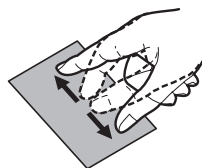
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

■ 項目選択や実行する場合

アイコン、タッチボタン、反転表示された項目などを指で直接タッチして選択します。

■ 画面をスクロールする場合

項目やアイコンにタッチしながら上下や左右に指をスライドさせます。音量調節もできます。

■ 前後の項目がある場合

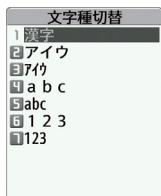
ディスプレイを指で表示したい方向へすばやくスライドしながら指を離すと前後の内容を表示できます。

■ 画像表示画面などの場合

画面に親指と人差し指をおき、2本の指をスライドさせて指を広げたり、狭めたりすると指の間隔に合わせ拡大／縮小表示させることができます。

文字入力

文字入力のしかた

電話帳登録やメール、スケジュールの作成時などに文字を入力します。

① 入力モードの切り替え

文字を入力する画面で［文字］を押すと、文字種切替画面が表示されます。

文字種切替画面

② 文字の入力

各ダイヤルボタンを繰り返し押して、割り当てられている文字を入力します。

〈例〉 2 を押すと・・・

漢字ひらがな入力の場合
「か→き→く→け→こ」

カナ入力の場合
「カ→キ→ク→ケ→コ→2」

英字入力の場合
「a→b→c→A→B→C→2」

数字入力の場合
「2」

③ 文字の変換

文字を入力したら、漢字やカナに変更します。

- ：予測候補の表示
- ：候補から選択
- ：漢字などに変換
  - で変換範囲を変更
- ：英数カナへ変換
- ：確定

■ その他のボタン操作

CLR：文字の削除

＊：改行の入力や小文字／大文字の切り替え、濁点／半濁点の入力をします。

：同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

（1秒以上）：文字の貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。

：絵文字や記号を連続して入力したり、顔文字やURLを入力します。
一覧表示中は、 または を押してタブ表示を切り替えることができます。

「あ」、「い」のように、同じボタンに割り当てられている文字を連続して入力するときは、 でカーソルを移動させます。

文字を入力してみましょう

<例：「秋のキャンプ」と入力する>

▶ で予測候補にカーソルを移動し、 で予測候補を選択

▶ ［確定］

基本の操作

デコメ絵文字®を入力する

デコメ絵文字®とは、動く絵文字をはじめ一定の条件を満たす画像のことです。
メール本文入力画面で ［絵記］を押し ［デコメ］を押すと、カテゴリ別のデコメ絵文字®入力画面が表示されます。 で囲み枠を移動し ［選択］を押すとデコメ絵文字®が入力されます。

［カテゴリ分類］
顔文字・絵文字
表情・気持ち
装飾
ハート・キラキラ
天気・季節
移動・生活
食べ物
キャラクター
文字

［その他のボタン操作］
［←切替］：前のカテゴリを表示
［切替→］：次のカテゴリを表示
［カテゴリ］：カテゴリ一覧を表示
CLR：デコメ絵文字®入力の終了

音／画面設定

着信音を変える

FOMA電話の着信音を変更する

1. MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「着信音選択」▶「FOMA電話」▶「着信音」
2. 「メロディ」▶ 着信音を選択

着信音の音量を調節する

FOMA電話の着信音量を調節する

1. MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「着信音量」▶「FOMA電話」
2. で音量を調節して、［確定］

メロディやｉモーション、着うた®、着うたフル®など着信音に設定できるものもあります。ｉモーションを設定すると、映像も再生されます。

※「着うた」「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

バイブレータを設定する

FOMA電話がかかってきたときにバイブレータを振動させる

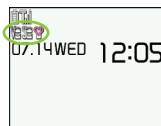
1. MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「バイブレータ設定」▶「FOMA電話」
2. 振動パターンを選択

マナーモードを利用する

ボタン操作1つで、着信音やボタン確認音などの音がスピーカから流れないように設定できます。マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音、動画撮影中の一時停止音、オートフォーカスロック完了音は鳴ります。

1. 待受画面で # （1秒以上）

■ 解除する場合

待受画面で # （1秒以上）

ボタンを押したときの音を消す

1. MENU ▶「本体設定」▶「音／バイブ／マナー」▶「その他音設定」▶「ボタン確認音」▶「OFF」

画面の設定を変える

待受画面の表示を変える

1. MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「待受画面設定」
2. 「待受画面」▶ 画像を選択

ディスプレイの明るさを変える

画面やボタンの照明動作を設定したり、明るさの調節をしたりします。

1 MENU ▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「照明設定」

2 項目を選択

周りの人からディスプレイを見えにくくする

プライバシーアングルを設定すると、周囲から画面が見えにくくなります。
設定中は、待受画面に が表示されます。

1 待受画面で 8 （1秒以上）

■ 解除する場合

待受画面で 8 （1秒以上）

・文字編集中などの機能を利用中にプライバシーアングルの設定や解除ができない場合があります。

メニューアイコンの設定を変える

1 MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」▶ 項目を選択

文字サイズを変える

1 7 （1秒以上）▶「書体」で文字の書体を選択 ▶「太さ」で文字の太さを選択 ▶「文字サイズ」で文字のサイズを選択

マチキャラの設定を変える

マチキャラを設定すると待受画面にキャラクタが表示され、ｉコンシェルのインフォメーション、不在着信／新着メール／未読メールなどのお知らせをします。

1 MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「マチキャラ設定」▶「ON」

2 フォルダを選択 ▶ マチキャラを選択 ▶ ［設定］

・待受画面にｉアプリを設定している場合は、マチキャラを同時設定できません。

きせかえツールを設定する

画面や着信音など、FOMA端末のさまざまなデザインを一括設定します。

1. MENU ▶「本体設定」▶「画面・ディスプレイ」▶「きせかえツール設定」▶ フォルダを選択
2. 項目を反転 ▶ 📷［一括設定］▶「YES」

・きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。

着信時のイルミネーションを変える

音声電話、テレビ電話の着信があったときや、メール、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信イルミネーションの点滅色や点滅パターンを設定します。

FOMA電話の着信イルミネーションを変更する

1. MENU ▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「イルミネーション設定」▶「着信イルミネーション」▶「着信イルミネーション選択」▶「FOMA電話」
2. 色を選択 ▶ CLR ▶「パターン設定」▶ パターンを選択

・指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。

■ 電話帳に点滅色を設定する場合

電話帳詳細画面で MENU［サブメニュー］▶「個別着信音／画像」▶ 設定したい項目を選択 ▶「イルミネーション設定」の順に操作します。

不在着信や新着メールをランプで確認する

着信イルミネーションを点滅させ続けるか点滅させないかを設定します。

着信イルミネーションを設定する

1. MENU ▶「本体設定」▶「照明・イルミネーション」▶「イルミネーション設定」▶「着信イルミネーション」▶「不在お知らせ」
2. 「ON」または「OFF」

基本の操作

着信イルミネーションで確認する

不在着信や新着メール（i モードメール、エリアメール、SMS）があると、着信イルミネーションが点滅し続けてお知らせします。

電池の消費をおさえる

eco モードとは、ディスプレイの明るさなどを調整することにより、電池の消費を抑えることができる機能です。電池残量が20％以下になると、より電池の消耗を抑える設定に自動的に変更されます。

- 電池残量が「〜」（電池残量100％ 〜 21％）」ではeco モード1（）に、「（電池残量20％以下）」ではeco モード2（）に自動的に設定されます。
- eco モード2ではボタン確認音が鳴らなくなったり、待受画面がeco モード対応コンテンツに切り替わるなど、eco モード1よりも電池の消費を抑える設定になります。

1. **待受画面で 5 （1秒以上）**

■ 解除する場合

待受画面で 5 （1秒以上）

ロック／セキュリティ

各種暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に暗証番号の必要なものがあります。

端末暗証番号

■ お買い上げ時：0000
データの全削除や設定変更などに必要な暗証番号です。

お客様ご自身で番号を変更できます。

MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶ 現在の端末暗証番号を入力 ▶ 新しい4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶「YES」の順に操作します。

ネットワーク暗証番号

■ ご契約時に任意の番号を設定
ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。

お客様ご自身で番号を変更できます。ｉモードから、

▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」で変更できます。

ｉモードパスワード

■ ご契約時：0000
ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際に必要です。

お客様ご自身で番号を変更できます。ｉモードから、

▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」で変更できます。

PIN1コード・PIN2コード

■ **ご契約時：0000**

FOMAカードに設定する暗証番号です。
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに入力する4～8桁の番号です。PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。
3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。
正しいPIN1 コード／PIN2コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

お客様ご自身で番号を変更できます。

MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「PIN設定」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「PIN1コード変更」または「PIN2コード変更」▶ 現在のPINコードを入力 ▶ 新しいPINコードを入力 ▶ 確認のため、もう一度新しいPINコードを入力の順に操作します。

・PIN1コードを変更する場合、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定してご使用ください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

・PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

各種ロック機能

本FOMA端末では、以下のようなロックをかけてお客様の大切な情報を守ります。

ロックの種類	機能	設定方法
ダイヤルロック	ほかの人が使用できないように端末をロックします。電源を切っても解除されません。	設定する MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「ダイヤルロック」 解除する ダイヤルロック設定中画面で端末暗証番号を入力 ▶ ◉ ・端末暗証番号の入力に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。	おまかせロックの設定／解除 0120-524-360 受付時間24時間(年中無休) ※ 携帯電話、PHS(他社)からもご利用になれます。 ※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。 ※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。 ・おまかせロックの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
オリジナルロック	メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。	設定する MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ オリジナルロックの項目を選択 解除する MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「OFF」
ICカードロック	ほかの人にICカード機能（おサイフケータイやトルカ取得など）を無断で使われることを防ぐために、ICカード機能をロックします。	設定する 待受画面で 3（1秒以上） 解除する 待受画面で 3（1秒以上）▶ 端末暗証番号を入力
キー操作ロック	FOMA端末を閉じたときや、電源を切ったとき、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけます。	設定する MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「キー操作ロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 設定する項目を選択 ▶ 📷［完了］ 一時解除する キー操作ロック設定中画面で端末暗証番号を入力 ▶ ◉

電話の着信制限をする

発信者番号のわからない電話を受けない

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話の着信を許可するか、拒否するかを非通知理由ごとに設定します。

1. MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「着信拒否設定」
2. 端末暗証番号を入力 ▶「非通知設定」～「Wi-Fi発番号なし」から選択 ▶「許可」または「拒否」

・設定には非通知理由ごとに以下の種類があります。
- 非通知設定 ： 発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合。
- 公衆電話 ： 公衆電話などから発信してきた場合。
- 通知不可能 ： 海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合。
- Wi-Fi発番号なし ： 電話番号を通知しないで発信してきたWi-Fi音声電話の場合。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可するか、拒否するかを設定します。

1. MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「着信拒否設定」
2. 端末暗証番号を入力 ▶「登録外着信拒否」▶「許可」または「拒否」

・相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」および本機能の「非通知設定」などもあわせて設定することをおすすめします。

基本の操作

お買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をリセットする

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー一覧」（→P.88）をご覧ください。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。

1. MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「設定リセット」
2. 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、ｉアプリ、ウィジェットアプリ、PDFデータ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画、各種履歴や情報など、お客様の大切なデータ、履歴、情報がすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

1. MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「端末初期化」
2. 端末暗証番号を入力 ▶「YES」▶「YES」

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。ただし、ｉD設定アプリ以外のおサイフケータイ対応アプリは削除されることがあります。また、お買い上げ時に登録されているｉアプリやウィジェットアプリをバージョンアップした場合や一度削除して再度ダウンロードした場合、そのデータは削除されます。
- FOMAカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータは削除されません。
- 「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。

遠隔操作でデータを初期化する

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／FOMAカード内のメモリ）を初期化することができます。

お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online
パソコンから　http://www.docomo.biz/
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

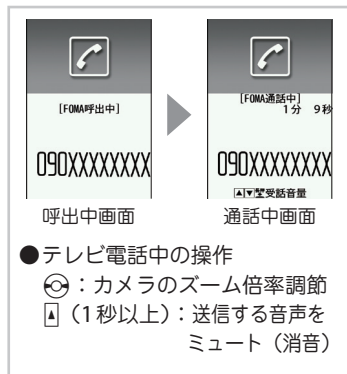
基本の操作

電話／テレビ電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1. 市外局番から電話番号を入力して（音声電話）／（テレビ電話）
2. 通話が終了したら

呼出中画面　通話中画面

●テレビ電話中の操作
：カメラのズーム倍率調節
（1秒以上）：送信する音声をミュート（消音）

電話帳から電話をかける

あらかじめ電話帳に相手の電話番号を登録しておきます。（→P.53）

1. MENU ▶「電話機能」▶「電話帳」▶「電話帳検索」▶ 検索条件を選択して電話帳を検索 ▶ で電話帳を選択して（音声電話）／（テレビ電話）

電話帳詳細画面

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

1. （リダイヤル）／（着信履歴）で相手を選択して（音声電話）／（テレビ電話）

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させるかどうかを設定します。

1. MENU ▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「発信者番号通知」▶「設定」
2. 「通知する」または「通知しない」

・発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか186を付けてからおかけ直しください。

国際電話をかける

日本から国際電話をかけるときはWORLD CALLを利用します。

・WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧になりお問い合わせください。

1. 010 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 相手の電話番号 ▶ [通話]（音声電話）／[カメラ]（テレビ電話）
2. 通話が終了したら[終話]

・地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

つながる

電話／テレビ電話を受ける

1. 電話がかかってきたら［通話キー］
2. 通話が終了したら［終話キー］

電話がかかってくると、
着信音が鳴り、着信イルミ
ネーションが点滅します。

音声電話
着信中画面

テレビ電話
着信中画面

相手の声の大きさを変える

1. MENU ▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中詳細設定」▶「受話音量」▶ ［方向キー］で調節

・通話中の場合は、［▲］［マナー］／［▼］［☼］で調節できます。

電話に出られないときは

伝言メモを設定する

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音／録画します。

1. MENU ▶「電話機能」▶「伝言メモ／音声メモ」▶「伝言メモ設定」▶「ON」▶「電話」または「テレビ電話」▶ 項目を選択
2. 呼出時間（000 ～ 120 秒の 3 桁）を入力

■伝言メモ設定を「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。録音中に音声電話に出る場合は、[通話]を押します。録画中にテレビ電話に出る場合は、[通話]（カメラ映像で出る）または ◉［代替画像］（代替画像で出る）を押します。

■ 伝言メモを再生する場合

待受画面で ◉ ▶「[伝言]」（伝言メモあり）／「[伝言]」（テレビ電話伝言メモあり）▶ 項目を選択

公共モード（ドライブモード）を設定する

公共モード（ドライブモード）を設定すると、運転中もしくは通話を控える必要のある場所（電車、バス、映画館など）にいて電話に出られない旨のガイダンスが相手に流れ、通話を終了します。

1. 待受画面で [＊]（1 秒以上）

待受画面に[車]が表示されます。

07.14WED 12:05

■ 解除する場合

待受画面で [＊]（1 秒以上）

公共モード（電源OFF）を設定する

FOMA端末の電源を切らなければならない場合は、公共モード（電源OFF）を設定すると、相手には電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

1. [＊][2][5][2][5][1] ▶ [通話]

■ 解除する場合

[＊][2][5][2][5][0] ▶ [通話]

つながる

各種ネットワークサービスを利用する

■ 利用できるネットワークサービス
FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料
キャッチホン	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	要	有料
2in1	要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
OFFICEED	要	有料
メロディコール	要	有料

- 「OFFICEED」は申し込みが必要な有料サービスです。
  ご不明な点はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご覧ください。

留守番電話サービスを設定する

1. MENU ▶「電話機能」▶「留守番電話サービス」▶ 項目を選択

キャッチホンを設定する

1. MENU ▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「キャッチホン」▶ 項目を選択

転送でんわサービスを設定する

1. MENU ▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「転送でんわ」▶ 項目を選択

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源を切っているときなどでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に「GPS成功」が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

海外で利用する

海外で電話をかけるには国際ローミング（WORLD WING）を利用します。
■ 国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、ｉモードメールは設定の変更なくご利用になれます。
■ 対応エリアについて
本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G 850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
■ 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
- データBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」
- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

■ おしらせ
・国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
・海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。

海外で利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS※2	○	○	○
ｉモード※3	○	×	○
ｉモードメール	○	×	○
ｉチャネル※3※4	○	×	○
ｉコンシェル※5	○	×	○
ｉウィジェット※6	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○
GPSの現在地確認※7	○	×	○

※1：2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※2：宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※3：ｉモード利用設定が必要となります。
※4：ｉチャネル海外利用設定が必要となります。ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケッ

ト通信料がかかります。

※5：ｉコンシェルの海外利用設定が必要となります。インフォメーションを受信するごとにパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。

※6：ｉウィジェット海外利用設定が必要となります。ｉウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合、1通信ごとにパケット通信料がかかります。

※7：GPS測位は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

滞在国外に電話をかける

1. 0（1秒以上）で＋を入力 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番） ▶ 相手の電話番号 ▶ （音声電話）／（テレビ電話）
2. 通話が終了したら

- 日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

1. 地域番号（市外局番） ▶ 相手の電話番号 ▶ （音声電話）／（テレビ電話）
2. 通話が終了したら

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外で「WORLD WING」利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として（国番号に「81」（日本）をダイヤル）電話をかけます。

1. 0（1秒以上）で＋を入力 ▶ 8 1 ▶ 先頭の「0」を除いた携帯電話番号 ▶ （音声電話）／（テレビ電話）
2. 通話が終了したら

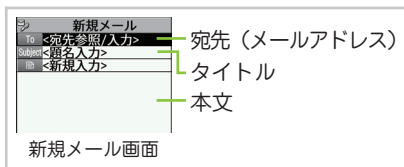
つながる

メール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由して e-mail のやりとりができます。テキスト本文に加えて、合計 2M バイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を 10 個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。さらにメッセージや画像を挿入した Flash 画像のデコメアニメ®にも対応しております。

・ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

ｉモードメールを送信する

1. ［New］ ▶ 各項目を入力
2. ［送信］

新規メール画面

■ ファイルを添付する場合

新規メール画面で ［添付］ ▶ ファイルを選択

・ｉモードメール添付できるファイルの種類は、次のようになります。
- 静止画、画像
- 動画、ｉモーション
- PDF データ
- トルカ、トルカ（詳細）
- プロフィールの登録データ
- Bookmark
- ムービー※
- SWF 形式の Flash 画像
- メロディ
- microSD カード内のドキュメント
- 電話帳のデータ
- スケジュールまたは ToDo リストの登録データ
- microSD カード内の SD その他ファイル

※：ムービーが添付された受信メールを転送するときにのみ、添付して送信することができます。

・メール本文のバイト数や挿入画像のファイルサイズに関係なく、最大 10 件、2M バイトまでのファイルを添付することができます（ファイルサイズによって、最大ファイル数は変動します）。

つながる

デコメール® ／デコメアニメ®を送信する

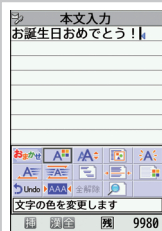
■ デコメール®

ｉモードメール本文の文字色やサイズを変える、動きをつけるなど各種の装飾（デコレーション）をつけることで表現力豊かなメールにしたものです。

■ デコメアニメ®

デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。

デコメール®を送信する

1. メール本文入力画面で
2. でデコレーションメニューを選択してメールを作成 ▶ ［送信］

：文字色の変更
：文字サイズの変更
：挿入する画像の選択
：文字を点滅
：入力した文字や装飾を1つ前の状態に戻す
など

デコメアニメ®を送信する

1. ▶「新規デコメアニメ作成」▶ 宛先、題名を入力 ▶「<新規入力>」▶ デコメアニメ®テンプレートを選択 ▶ ［確定］
2. 文字入力欄を選択して本文を編集 ▶ ［完了］▶ ［送信］

・あらかじめレイアウトや装飾が決まっているテンプレートを利用すると、簡単にデコメール®／デコメアニメ®が作成できます。
▶「デコメテンプレート」▶「デコメール」または「デコメアニメ」の順に操作します。

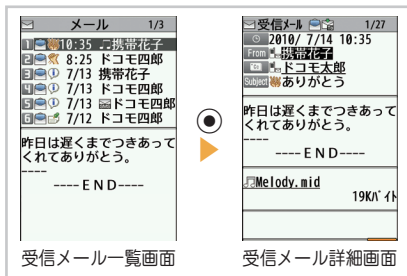
受信したｉモードメールを見る

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

・ｉモードメールを受信すると待受画面に未読アイコン「✉」が表示されます。

1. ✉ ▶「受信BOX」▶フォルダを選択
2. ｉモードメールを選択

受信メール一覧画面　　受信メール詳細画面

つながる

ｉモードメールに返信する

1. 受信メール一覧画面または受信メール詳細画面で ▶ 📷［返信（引用）］▶ メールを作成 ▶ 📷［送信］

•元の文章を引用して返信するには、📷［返信（引用）］を1秒以上押します。

ｉモードメールが届いているか問い合わせる

ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールやメッセージを受信することができます。

1. 待受画面で ✉（1秒以上）

ｉモードメールを振り分ける

メールアドレスや題名など、あらかじめ条件を設定し、自動的に指定したフォルダにメールを振り分けることができます。

1. 送信BOX／受信BOXフォルダ一覧画面で振り分け先のフォルダを反転 ▶ MENU［サブメニュー］▶「自動振分け設定」▶ 自動振分けを設定

緊急速報「エリアメール」

■ エリアメールとは
気象庁から配信される緊急情報などを受信することができるサービスです。
FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。
- ｉモードを契約しなくても、エリアメールは受信できます。
- 下記のような場合は、受信設定にかかわらずエリアメールの受信はできません。
  - 電源OFF時
  - 「圏外」時
  - 音声電話中
  - テレビ電話中
  - 国際ローミング中
  - おまかせロック中
  - セルフモード設定中
  - 赤外線／ｉＣ／Bluetooth通信中
  - 通信モードをWi-Fiシングルモードに設定中

■ エリアメールを受信すると

エリアメールを受信すると画面の上部に「」が表示され、ブザー音とバイブレータの振動でお知らせします。

エリアメールを設定する

1. ▶「メール設定」▶「緊急速報「エリアメール」設定」▶ 項目を選択

SMSを利用する

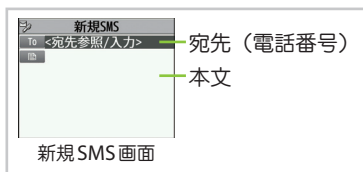
ドコモの携帯電話どうし、またはドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間で、携帯電話番号を宛先としたSMSのやりとりができます。

・ご利用可能な国および海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

SMSを送信する

1 ✉ ▶「新規SMS作成」

2 各項目を入力 ▶ 📷［送信］

新規SMS画面

・SMSでは画像などのファイル添付はできません。

受信したSMSを見る

SMS受信時の動作はｉモードメールを受信したときと同じです。また、最大保存件数や、受信メールの保存領域がいっぱいになったときの動作も同じです。

1 ✉ ▶「受信BOX」▶ フォルダを選択

2 SMSを選択

SMSが届いているか問い合わせる

FOMA端末が受信できなかったSMSは、SMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信できます。

1 ✉ ▶「SMS問合せ」

つながる

電話帳

電話帳に登録する

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。

新しい電話番号／メールアドレスなどを登録する

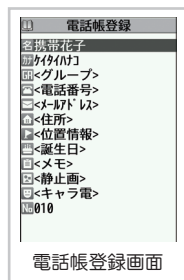
「名前」を入力しないと電話帳の登録ができません。

1. 待受画面で○（1秒以上）▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」▶名前、フリガナを入力
2. 各項目を入力して［完了］

電話帳登録
名携帯花子
ｶﾅケイタイハナコ
GR<グループ>
<電話番号>
<メールアドレス>
<住所>
<位置情報>
<誕生日>
<メモ>
<静止画>
<キャラ電>
No010

電話帳登録画面

リダイヤル／着信履歴から電話帳に登録する

1. 電話のリダイヤル／着信履歴画面でMENU［サブメニュー］▶「電話帳登録」▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」▶「新規登録」
2. 各項目を入力して［完了］

電話帳を修正する

登録済みの電話帳に、電話番号やメールアドレス、登録内容の追加や修正ができます。

FOMA端末に登録済みの電話帳を修正する

1. 電話帳詳細画面でMENU［サブメニュー］▶「電話帳編集」
2. 追加や変更したい項目を修正▶［完了］▶「YES」

電話帳詳細画面

電話帳を削除する

1. 電話帳詳細画面でMENU［サブメニュー］▶「電話帳削除」▶項目を選択▶「YES」

ｉモード／フルブラウザ

■ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

■フルブラウザ

パソコン向けに作成されたサイトやインターネットホームページをフルブラウザの機能を利用して閲覧します。

- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
- パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 1ページあたりフルブラウザは最大1.5Mバイトまで表示できます。

■「みんなNらんど」

ｉMenuの中のサイト「みんなNらんど」から、FOMA端末で利用できるｉアプリ、辞書、デコメール®テンプレートなどのデータファイルをダウンロードできます。

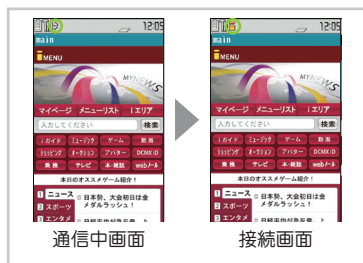
 ▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「みんなNらんど」

サイト接続用
QRコード

しらべる

ｉモードサイトを表示する

1 待受画面で ／[iモードキー]

通信中は「[アイコン]」が点滅し、ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード中）は「[アイコン]」が点滅します。

パソコン向けのホームページを表示する

1 MENU ▶「ｉモード／web」▶「フルブラウザホーム」

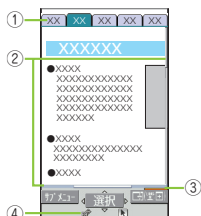
ブラウザを切り替える

ｉモードブラウザとフルブラウザは料金体系が異なります。切り替えの際にはご注意ください。

1 ｉモードで表示したサイトやインターネットホームページ画面 ▶ MENU［サブメニュー］▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ切替」▶「OK」または「OK（以後非表示）」

■ **フルブラウザからｉモードブラウザに切り替える場合**

フルブラウザで表示したページ ▶ MENU［サブメニュー］▶「ｉモードブラウザ」▶「ｉモードブラウザ切替」

サイトの見かたと操作

① タブ
- 表示しているページのタイトルを表示（タイトルがない場合は、URLを表示）
- 同時に開いているページの数に合わせ、タブも表示

② スクロールバー：表示しているフルブラウザページの現在位置
③ クイック検索
④ フルブラウザでインターネット接続中に表示

コミュニケーションスタイルで操作する

押した方向にリンクを移動しながらスクロールします。

前のページに戻ります。

次のページに進みます。

▲［マナー］／▼［☼］：
画面単位で上方向または下方向にスクロールします。

しらべる

タッチスタイルで操作する

ｉモードブラウザ画面　　フルブラウザ画面

① ウィンドウの操作や表示モードの切り替えなど
② 前のページに戻る／次のページへ進む
③ タッチツールの表示／非表示

よく見るサイトを登録する

1 **ｉモードやフルブラウザで表示したインターネットホームページ画面 ▶ MENU［サブメニュー］▶「Bookmark」▶「Bookmark登録」▶「YES」▶ フォルダを選択**

■ Bookmarkを表示する場合

MENU ▶「ｉモード／web」▶「Bookmark」▶ フォルダを選択 ▶ Bookmarkを選択

ページの内容を保存する

1 **ｉモードやフルブラウザで表示したインターネットホームページ画面 ▶ MENU［サブメニュー］▶「画面メモ」▶「画面メモ保存」▶「YES」または「YES（イメージのみ）」▶「画面メモ」または「microSD」**

■ 画面メモを表示する場合

MENU ▶「ｉモード／web」▶「画面メモ」▶ 画面メモを選択

・Bookmarkはｉモードとフルブラウザ合わせて最大200件※件まで保存できます。
・画面メモはｉモードとフルブラウザ合わせて最大3,500件まで保存できます。
・サイト側が画面メモ保存不可の指定をしている場合など、画面メモに保存できない場合があります。
※：シークレットフォルダには別途最大20件登録できます。

しらべる

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。
「ベーシックチャネル」･･･ドコモが提供するチャネルです。配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。
「おこのみチャネル」･･･IP（情報サービス提供者）が提供するチャネルです。配信される情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。
※「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」共に、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
※ 海外でご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかり、国内でのパケット通信料と異なります。
※ ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
・ ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉチャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面に情報がテロップ表示されます。

ｉチャネルに接続する

1. **待受画面で CLR**

ｉチャネル一覧画面
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

しらべる

地図／GPS

- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されていますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- FOMA端末が圏外のときは、現在地確認を除き、GPS機能をご利用いただけません。

自分のいる場所を確認する

現在、自分がいる場所を測位して、位置情報を取得します。取得した位置情報を使って現在地を地図に表示したり、地図・GPSアプリを利用することができます。

1 MENU ▶「地図／海外」▶「現在地確認／通知」▶「現在地確認」

地図を見る

GPS対応ｉアプリを起動して地図を表示します。

1 MENU ▶「地図／海外」▶「地図」

測位レベル
★★★：ほぼ正確な位置情報です（誤差がおおむね50m未満）。
★★☆：比較的正確な位置情報です（誤差がおおむね300m未満）。
★☆☆：おおよその位置情報です（誤差がおおむね300m以上）。
測位レベルは周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

おしらせ

- 現在地確認をしたときのパケット通信料は無料です。ただし位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

オートGPSを利用する

オートGPSを利用すると、自分がいる場所に合わせて様々なサービスを受けることができます。

・オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
・位置情報の送信にはパケット通信料がかかる場合があります。
・お客様のご利用状況によっては、定期的に通信を行うことにより、FOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。

ドコモが提供するオートGPSサービス情報を設定する

オートGPS機能により測位された位置情報を、定期的にドコモに自動送信するかどうかを設定します。位置情報をドコモに自動送信することで、ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスと連動したサービスを受けることができます。

・各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要です。
・その他のサービスで利用するには、各ｉアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。

1. MENU ▶「地図／海外」▶「地図・GPS設定／履歴」▶「オートGPS」
2. 「ドコモ提供サービス設定」▶「利用する」

オートGPS機能の動作設定をする

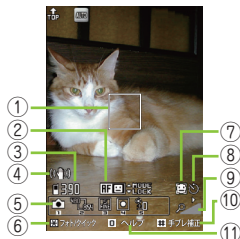
1. MENU ▶「地図／海外」▶「地図・GPS設定／履歴」▶「オートGPS」
2. 「オートGPS動作設定」▶「ON」▶ 歩幅を入力

・電池残量が低下した場合、オートGPS機能を自動的に停止し、電池の消費量を抑えることを優先するように設定できます。
MENU ▶「地図／海外」▶「地図・GPS設定／履歴」▶「オートGPS」▶「低電力時動作設定」▶「停止する」▶「OK」の順に操作します。

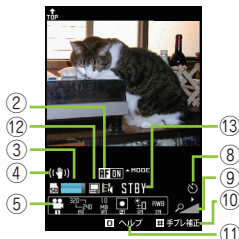
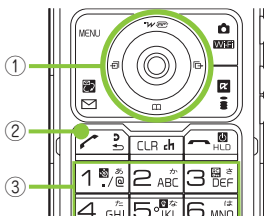
しらべる

カメラ

撮影画面の見かたと操作

コミュニケーションスタイルで撮影する

静止画撮影画面

動画撮影画面

① フォーカス枠
② オートフォーカス状態表示
③ 保存可能枚数／保存容量表示
④ 手ブレ補正表示
⑤ 撮影メニュー
⑥ フォト／クイックショット切替
⑦ 顔選択モード／ついてくAF選択モード
⑧ セルフタイマー
⑨ ズーム状態表示
⑩ 手ブレ補正設定
⑪ ボタン操作ガイダンス表示
⑫ 記録品質設定
⑬ 撮影状態表示

■コミュニケーションスタイルでの主なボタン操作

① ● ：シャッター
上 ／ 下 ：オートフォーカスモード切替／フォーカスロックを実行
左 ／ 右 ：ズーム（広角）／ズーム（望遠）
② 発信 ：ライト
③ 1 ：カメラモード切替　2 ：画像サイズ選択
3 ：記録品質設定またはファイルサイズ設定
4 ：撮影モード選択　5 ：明るさ調節
6 ：ホワイトバランス設定／ ISO選択

タッチスタイルで撮影する

タッチスタイルでは、静止画撮影画面／動画撮影画面の 機能 をタッチするとパレットが表示され、タッチ操作でさまざまな撮影条件を設定することができます。

タッチ操作画面

① 終了／戻る／確定
② 機能
機能名をタッチすると、それぞれの機能の設定パレットが表示されます。
③ その他
ここに表示されていない機能の設定パレットを表示します。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1. ▶ カメラを被写体に向け ◉［シャッター］▶ ◉［保存］

動画を撮影する

1. ▶ 静止画撮影画面で 1 ▶ ▶ カメラを被写体に向け ◉［録画開始］
2. 撮影を終了するには ◉［録画終了］▶ ◉［保存］

- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

撮影した静止画／動画を見る

撮影した静止画はデータBOX内の「マイピクチャ」に、動画は「iモーション・ムービー」に保存されます。静止画／動画は待受画面などに設定することができます。

データBOXから静止画／動画を見る

1. MENU ▶「データBOX」▶「マイピクチャ」または「iモーション・ムービー」▶「カメラ」▶ で画像を選択

■ 撮影中に画像を見る場合

静止画撮影画面／動画撮影画面で ［ ］▶ で画像を選択

- 撮影した静止画は、次の操作で待受画面などに設定できます。静止画確認画面で ▶ MENU［サブメニュー］▶「ピクチャ貼付」▶ 設定する画面を選択の順に操作します。

さまざまな方法で撮影する

1. 静止画撮影画面／動画撮影画面で MENU［サブメニュー］▶「カメラモード切替」▶ 撮影モードを選択

たのしむ

ワンセグ

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

※「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。

※「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
　社団法人　デジタル放送推進協会
　パソコン：http://www.dpa.or.jp/
　ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

※海外ではワンセグは利用できません。

■電波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。次のような場所では、正しく動作しない場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など

※受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

■電池残量について

電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、電池残量警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。また、視聴中や録画中に電池残量が少なくなると、電池残量警告音が鳴り、視聴または録画を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

- 電池少量時録画設定が「録画を継続する」に設定されている場合、録画中に電池残量警告音は鳴りません。
- 確認画面で約1分間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。

■初めてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。◉（OK）を押したあとに表示される確認画面で「NO」を選択すると、以降同様の確認画面は表示されません。

チャンネルを設定する

はじめてワンセグをご利用になるときや地域を移動したときなどには、チャンネル設定を行います。

1 ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「チャンネル設定」▶「地域選択」

2 地域や都道府県を選択 ▶「YES」

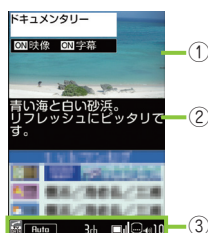
■ 放送局を自動検索してチャンネルリストを登録する場合

MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「チャンネル設定」▶「自動チャンネル設定」▶「YES」▶「YES」▶ タイトルを入力

ワンセグを見る

1 MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「ワンセグ視聴」

視聴画面の見かたと操作

ワンセグ視聴画面

① 映像　② 字幕
③ 画面のモードや状態などを表示

：音量調節
：順送り選局
CLR：消音（ミュート）
0～9、#、＊：ワンタッチ選局
：視聴中に押すと静止画録画、視聴中に1秒以上押すとビデオ録画開始、ビデオ録画中に押すと録画停止（録画したビデオはmicroSDカードに保存されます）
：番組情報表示、画面表示切替

ワンセグの視聴／録画を予約する

1 MENU ▶「カメラ／TV／MUSIC」▶「ワンセグ」▶「視聴予約リスト」または「録画予約リスト」

2 ［新規］▶ 各項目を入力 ▶ ［完了］

録画したビデオを再生する

1 MENU ▶「データBOX」▶「ワンセグ」▶「ビデオ」▶ ビデオを選択

たのしむ

Music&Videoチャネルについて

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。
また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

・Music&Videoチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

■ Music&Videoチャネルのご利用にあたって

・Music&Videoチャネルはお申込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはiモード契約およびiモードパケット定額サービス契約が必要です）。
・Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
・Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
・iモードの解約を行った場合、配信番組フォルダの番組データが削除される場合があります。
・国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

※：国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、iモード接続を行うためパケット通信料がかかりますので、ご注意ください。

Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやiモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。ただし、動画番組ではできません。

番組を設定する

利用したい番組を事前に設定し、夜間に番組データを自動的に取得します。一度に設定できる番組の数は2つです。

1. MENU ▶「カメラ/TV/MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」▶「番組設定」
2. 画面の指示に従って番組を設定

Music&Videoチャネル画面

番組を再生する

1. MENU ▶「カメラ/TV/MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」
2. 番組を選択

番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要な場合もあります。

たのしむ

サイトから着うたフル®をダウンロードする

1. 着うたフル®が取得可能なサイトで着うたフル®を選択 ▶「保存」▶「YES」
2. 保存先フォルダを選択

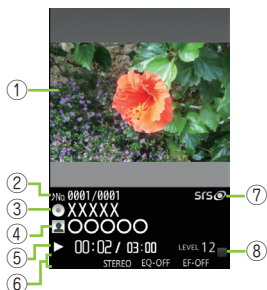
音楽データを再生する

お買い上げ時に登録されているｉモーションのほかに、ｉモードサイトやフルブラウザから取得したｉモーション・ムービーや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組、WMAファイルを再生することができます。

1. MENU ▶「データBOX」▶ 再生したいコンテンツのフォルダを選択
2. フォルダを選択 ▶ 番組、楽曲を選択

- 再生制限付きの番組、楽曲もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある番組、楽曲は、タイトルの先頭に「 」「 」が表示されます。再生できる期間が制限されている番組、楽曲は、期間前や期間後には再生できません。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている楽曲については、再生することができません。

5Mバイトを超える着うたフル®やサイズが不明の着うたフル®は取得できません。

ミュージックプレーヤー画面の見かたと操作

① 画像
② トラック
③ タイトル
④ アーティスト名
⑤ 再生経過時間（分：秒）／全体の長さ（分：秒）
⑥ リピート状態／音質（イコライザ）／
音響効果（エフェクト）など
⑦ 音響効果適用
⑧ 音量（レベル0 ～ 25）

：一時停止／再生を再開
：音量調節
：先頭から再生、先頭から3秒以内に押した場合は前の曲を再生
：次の曲を再生
（1秒以上）：スキップ戻し
（1秒以上）：スキップ送り
：停止
：曲リスト
：BGM

たのしむ

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリとは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
ｉウィジェットとは電卓、時計、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ（ウィジェットアプリ）に、待受画面で ◎ を押すだけでアクセスできる便利な機能です。ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。

- ｉアプリやウィジェットアプリをダウンロードする場合、ｉウィジェット画面を表示する場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 海外でご利用の場合は、ｉウィジェット画面を表示するとパケット通信料がかかります。
- ｉアプリ、ｉウィジェットの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

ｉアプリを起動する

1. 待受画面で （1秒以上） ▶ ソフトを選択

ソフト一覧（本体）画面
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

たのしむ

サイトからアプリをダウンロードする

ｉモードのサイトから、最大約2Mバイトまでのｉアプリやウィジェットアプリのソフトをダウンロードできます。

1. ｉアプリ、ウィジェットアプリがダウンロード可能なサイトでソフトを選択 ▶「YES」

おしらせ

- お買い上げ時には、次のｉアプリを含め31種類のソフトがあらかじめ登録されています。
  - Gガイド番組表リモコン
  - フォト文字クリエイター
  - ルミネス
  - ｉアバターメーカー　など
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは、削除できます（「iD設定アプリ」を除く）。削除したｉアプリは「みんなNらんど」から再びダウンロードできます。（→P.54）

ｉアプリとウィジェットアプリは合わせて最大200件まで保存できます。

たのしむ

ウィジェットアプリを起動する

1 待受画面で◎ ▶ ウィジェットアプリを選択

iウィジェット画面

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

おしらせ

- お買い上げ時には、次のウィジェットアプリを含め11種類のウィジェットアプリがあらかじめ登録されています。
  - iアプリバンキング
  - マクドナルド トクするアプリ
  - 地図アプリ
  - 楽オク☆アプリ　など

たのしむ

ｉモーション・ムービー

ｉモーションは、映像や音声、音楽のデータです。ｉモーション対応サイトからFOMA端末にダウンロードします。インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されているさまざまなムービーをダウンロード、再生できます。
※ ムービーのダウンロード、ストリーミング時には容量の大きいデータを受信する可能性があります。容量制限のないストリーミングタイプなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
・ パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉモーション・ムービーを取得する

1. ｉモーションがダウンロード可能なサイトからｉモーション・ムービーを選択（ムービーの場合は ▶「YES」）
2. 保存が可能な場合は「保存」▶「YES」▶ フォルダを選択

■ ダウンロードの種類
・ストリーミングタイプ：ダウンロードと同時に再生されます。
・標準タイプ（ダウンロードタイプ）:ダウンロードが完了するとダウンロード画面が表示され、データの再生、保存などの選択ができます。

ｉモーション・ムービーを再生する

1. MENU ▶「データBOX」▶「ｉモーション・ムービー」▶ フォルダを選択 ▶ 動画を選択

■ ライセンス（WMDRM（Windows Media digital rights management））について
・ライセンスにより保護されたムービーで再生できるのはストリーミングタイプのみです。ライセンスに保護されたダウンロードタイプのムービーは非対応です。
・ムービーのライセンス設定によってはムービーの再生ができない場合があります。

たのしむ

おサイフケータイ

おサイフケータイ／トルカについて

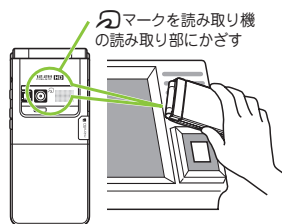
■ おサイフケータイ
おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。さらに、読み取り機器にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティも充実しています。
※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト*よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。
*： ▶「メニューリスト」▶「おサイフケータイ」

- おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

■ トルカ
トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、ｉC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。
- トルカの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末の マークを読み取り機にかざし、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。

- 電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからも、 マークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用いただくことができます。

iコンシェル

執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、生活エリアやお客様の居場所、趣味趣向にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されているスケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることができます。iコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

■ iコンシェルのご利用にあたって

- iコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはiモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービスのご契約をされていないお客様が、iコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、iスケジュールなど）によっては、iコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- iコンシェルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。
- iスケジュール／トルカ／電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- iコンシェルの詳細は『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

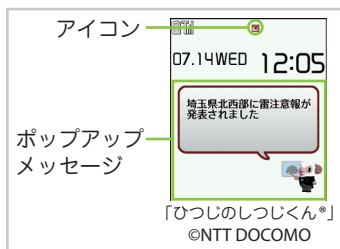
インフォメーションを受信する

インフォメーションを受信すると、画面の上部に「」が表示されます。

1 待受画面 ▶ ポップアップメッセージを選択

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

iコンシェルを表示する

1 MENU ▶「iコンシェル」

便利ツール

スケジュールを利用する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。

1. MENU ▶「便利ツール」▶「スケジュール」▶ 日付を選択 ▶ MENU［サブメニュー］▶「新規登録」▶「スケジュール」
2. 各項目を入力 ▶ ［完了］

アラームを利用する

アラームは10件まで登録できます。

1. MENU ▶「便利ツール」▶「アラーム」▶ アラームを選択 ▶ ［編集］
2. 各項目を入力 ▶ ［完了］

バーコードリーダーを利用する

外側カメラを利用しJANコード、QRコード、CODE128を読み取ります。

・読み取りデータは5件まで登録できます。
・FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
・バーコードを読み取るときは、外側カメラをバーコードから約10cm離してください。

1. MENU ▶「便利ツール」▶「バーコードリーダー」
2. バーコードを認識範囲に表示すると自動的に読み取り開始
3. MENU［サブメニュー］▶「登録」▶「YES」▶「OK」

- JANコード
  右のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

- QRコード
  右のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。
- CODE128
  CODE128を読み取るには対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります。
  右のCODE128をFOMA端末で読み取ると「NTTDOCOMO」と表示されます。

Bluetooth機能

Bluetooth 機器をFOMA端末に登録する

使用したいBluetooth機器が未登録のときは、最初に登録します。Bluetooth機器は10件まで登録できます。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておきます。

1. MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「登録機器リスト」▶「YES」▶「OK」
2. 登録するBluetooth機器を選択 ▶「YES」▶ Bluetoothパスキーを入力 ▶「確定」

Bluetooth 機器と接続する

登録したBluetoothを利用してワイヤレスで接続し、通話をしたり音楽を聴いたりできます。

1. MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「登録機器リスト」
2. 接続するBluetooth機器を選択 ▶ サービスを選択

■ ヘッドセットやハンズフリーで通話する場合

「ヘッドセット」または「ハンズフリー」を選択します。

■ オーディオ機器で再生する場合

「オーディオ」を選択します。

■ ワイヤレスでBluetooth対応パソコンなどと接続する場合

「ダイヤルアップ」を選択します。

Bluetooth 接続でデータを送受信する

Bluetooth通信機能を搭載したほかのBluetooth機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを送受信します。相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。

■データを1件送信する

1. 送信したいデータの画面で MENU［サブメニュー］▶「Bluetooth送信」
2. 相手側の機器を受信状態にする ▶ Bluetooth機器を選択 ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

MENU ▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「Bluetooth受信」▶「受信」▶ 相手のBluetooth機器からデータ送信 ▶「YES」

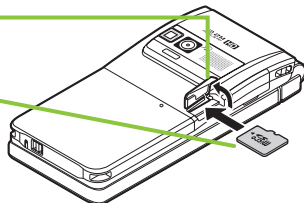
データ管理

本FOMA端末では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年4月現在）。

- フォーマットは必ずN-04Bで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。
- microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから
    ▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「みんなNらんど」
  - QRコードから
    右のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択
  - パソコンから
    http://www.n-keitai.com/
    なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードはFOMA端末の電源を切った状態で取り付け／取り外しを行ってください。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカードを利用する

microSDカードを取り付ける／取り外す

1. **microSDカードスロットのキャップを開ける**
2. **microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む**
   microSDカードの金属端子面を下にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。完全に奥まで押し込むとロックされます。
3. **microSDカードスロットのキャップを閉じる**
   microSDカードを取り付け後、電源を入れると、SDが表示されます。

- 取り外すには、microSDカードを押し込んで手を放します。microSDカードが少し出てきます。このとき、microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜きます。

より便利に

microSDカードをフォーマットする

microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1. MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「microSDデータ参照」▶ MENU［サブメニュー］▶「microSDフォーマット」
2. 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

microSDカードのデータを表示する

＜例：スケジュールを表示する＞

1. MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「microSDデータ参照」
2. 「スケジュール」▶ ファイルを選択 ▶ データを選択

データをmicroSDカードへコピーする

1. 各データの一覧画面（電話帳一覧画面など）で MENU［サブメニュー］▶「microSDへコピー」▶ コピー方法を選択

データをFOMA端末へコピーする

1. 各データの一覧画面（スケジュール一覧画面など）で MENU［サブメニュー］▶「本体へ追加コピー」または「本体へ上書きコピー」
2. コピー方法を選択 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

データをmicroSDカードにバックアップする

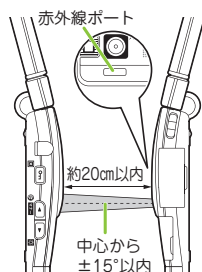
すでにmicroSDカード内にバックアップされたデータが存在する場合は、そのデータは上書きされますのでご注意ください。

1. MENU ▶「便利ツール」▶「microSD」▶「バックアップ／復元」▶「microSDへバックアップ」
2. 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

赤外線通信を使ってデータを送受信する

赤外線通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

・相手側の機器を受信状態にしてください。
・相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。
・本FOMA端末はIrMC™1.1規格に準拠しています。

赤外線ポート
約20cm以内
中心から
±15°以内

■ データを1件送信する

1 送信したいデータの画面で MENU ［サブメニュー］ ▶「赤外線送信」

2 赤外線ポートを相手の機器に向ける ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

MENU ▶「便利ツール」▶「赤外線受信」▶「受信」▶ 赤外線ポートを相手の機器に向けて受信 ▶ 受信が完了したら「YES」

ｉＣ通信を使ってデータを送受信する

ｉＣ通信とは、FOMA端末と他のFOMA端末を重ね合わせるだけで、電話帳などのデータを送受信できる機能です。

・相手側の機器によっては送受信できないデータがあります。

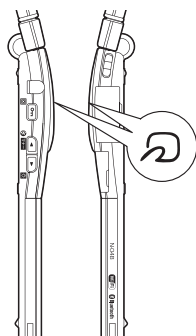
■ データを1件送信する

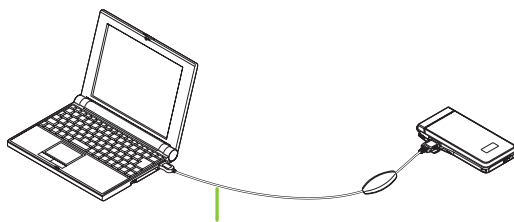
1 送信したいデータの画面で MENU ［サブメニュー］ ▶「ｉＣ送信」

2 相手のFOMA端末の マークを重ね合わせる ▶「YES」

■ データを1件受信する場合

相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる ▶ 相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

より便利に

パソコンと接続する

FOMA端末とパソコンを接続して、microSDカード内のWMAファイルや画像などをやりとりすることができます。また、インターネットに接続して、データ通信を行うこともできます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- データ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

より便利に

故障かな？と思ったら

・まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（→P.84）
・気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

FOMA端末の電源が入らない

● 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.18
● 電池切れになっていませんか。→P.19

充電ができない（充電ランプが点灯しない／点滅する）

● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.18
● アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P.19
● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか）。→P.19
● 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで拭いてください。→P.19
● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが消えたり点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。→P.19
● ご使用の状況により充電が途中で停止する場合があります。使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。

操作中・充電中に熱くなる

● 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

● 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。
圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

何もしないのに電源が切れる、再起動する

● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

ボタンやタッチパネルの操作ができない

● 磁気を帯びた製品にFOMA端末を近づけると、ボタンやタッチの操作が正しくできなくなることがあります。磁気からFOMA端末を離してご使用ください。
● ダイヤルロック／おまかせロックを設定していませんか。→P.37
● キー操作ロック中ではありませんか。→P.37
●「タッチパネル有効設定」を「OFF」に設定していませんか。

FOMAカードが認識されない

● FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。→P.18
● FOMAカード（青色）を挿入していませんか。→ P.18

ダイヤルボタンを押しても発信できない

●「発信・メール送信」の「ダイヤル発信」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.37
● キー操作ロック中ではありませんか。→P.37
● 指定発信制限設定中ではありませんか。
● ダイヤルロックを設定していませんか。→P.37
● セルフモードを設定していませんか。

通話ができない

● 電源を入れ直すか、電池またはFOMAカードを入れ直してください。
● 電波の性質により、T～Tılを表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
● 指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。
● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

おサイフケータイが使えない

● FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。
● ICカードロック、ダイヤルロックやおまかせロックを設定していませんか。
● 電池パックを取り外すと、ICカード機能は利用できなくなります。

保証とアフターサービス

保証について

・FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
・この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

● **調子が悪い場合は**
修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

● **お問い合わせの結果、修理が必要な場合**
ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

・保証期間内は
  - 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
  - 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
  - ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

・以下の場合は、修理できないことがあります。
  - 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
  - お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

  ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

・保証期間が過ぎたときは
ご要望により有料修理いたします。

・部品の保有期間は
FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お願い

- **FOMA端末および付属品の改造はおやめください。**

・改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- **FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。**
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- **各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。**
- **FOMA 端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。**
  使用箇所：ニューロポインターボタン、スピーカ、送話口付近
- **FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。**

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

・ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
・海外からのアクセスの場合は有料となります。

■「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

▶「お知らせ」▶「サービス・機能」▶「ｉモード」▶「ｉモード故障診断」

サイト接続用QRコード

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要がある場合に、パケット通信を使って更新する機能です。

※ ソフトウェア更新のパケット通信料は無料です。
更新に関する情報は、ドコモのホームページおよびｉ Menuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただしダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

■ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード､書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用できません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

アイコンからソフトウェアを更新する

待受画面に表示された（更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェアを更新します。

更新お知らせアイコン

1 更新お知らせアイコンを選択 ▶「はい」

2 端末暗証番号を入力

ソフトウェア更新が必要かどうかがチェックされます。

3 チェックの結果が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合

すぐにソフトウェアを更新する場合は、「今すぐ更新」を選択するとソフトウェアのダウンロードが開始されます。あとで更新する場合は「予約」を選択し、希望日時を設定します。

■「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示された場合

そのままFOMA端末をご使用ください。

メニューからソフトウェアを更新する

メインメニューからソフトウェアを更新します。

1 MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」

2 端末暗証番号を入力 ▶「更新実行」

ソフトウェア更新が必要かどうかがチェックされます。
「アイコンからソフトウェアを更新する」の操作3へ進みます。

有害なデータをチェックする

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことが出来ませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

パターンデータを更新する

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

1. MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「パターンデータ更新」
2. 「YES」▶「YES」

スキャン結果の表示について

■ スキャンされた問題要素の表示について

以下の問題を検出しました

問題要素名1
問題要素名2
問題要素名3
問題要素名4
問題要素名5
他XXXX件
戻る

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に5件まで表示されます。
問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない場合があります	正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？	正常に動作できない場合があるため終了します	正常に動作できない場合があります データを削除しますか？	正常に動作できないためデータを削除します
［OK］：動作を継続	［YES］：動作を中止して終了 ［NO］：動作を継続	［OK］：動作を中止して終了	［YES］：データを削除して終了 ［NO］：動作を中止して終了	［OK］：データを削除して終了

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・イヤホンマイク 01
・ステレオイヤホンマイク 01
・イヤホン変換アダプタ 01
・スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
・ステレオイヤホンセット P001※1
・イヤホンジャック変換アダプタ P001
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01※2／P02※2
・平型ステレオイヤホンセット P01※2
・Bluetoothヘッドセット F01※3
・Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
・ワイヤレスイヤホンセット P01／02
・骨伝導レシーバマイク 01※2／02
・FOMA USB接続ケーブル※4
・FOMA ACアダプタ 01※5／02※5
・FOMA乾電池アダプタ 01
・キャリングケース L 01
・FOMA充電機能付USB接続ケーブル02※4
・FOMA補助充電アダプタ01
・車載ハンズフリーキット 01※6
・FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
・データ通信アダプタ N01
・FOMA室内用補助アンテナ※7
・FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※7
・車内ホルダ 01※8
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※5
・FOMA DCアダプタ 01／02
・外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
・卓上ホルダ N26
・電池パック N16
・リアカバー N44

※1：N-04Bと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※2：N-04Bと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※3：Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。
※4：USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5：ACアダプタでの充電方法について→P.19
※6：N-04Bを充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※7：日本国内で使用してください。
※8：N-04Bを車内ホルダに取り付ける際は、「車内ホルダ 01取扱説明書」に記載されている使用方法②の表「5段目」に取り付けてください。その場合、コミュニケーションスタイルでの取り付けをおすすめします。

メニュー一覧

■■■■の項目は、「設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。

・■■■■の項目には、お買い上げ時の設定（またはお買い上げ時の状態）に戻らない機能が含まれている場合があります。

大項目	中項目	小項目
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	送受信BOX	
	新規メール作成	
	新規デコメアニメ作成	
	デコメテンプレート	
	新規SMS作成	
	メール／メッセージ問合せ	
	SMS問合せ	
	メール選択受信	
	メール設定	受信設定
		表示設定
		冒頭文／署名設定
		定型文／単語登録
		BOXロック
		メール／メッセージ問合せ設定
		メール返信引用設定
		アドレス・迷惑メール設定
		編集時自動保存設定
		メール読み上げ設定
		感情／キーワードお知らせ
		SMS設定
		緊急速報「エリアメール」設定
		メール設定確認
		メール設定リセット
iモード／web	iMenu・検索	
	Bookmark	
	画面メモ	
	サイト閲覧履歴	
	URL入力	
	ｉチャネル	ｉチャネル一覧
		テロップ表示設定
		ｉチャネル初期化
	iモード／web設定	iモードブラウザ設定
		フルブラウザ設定
		共通設定
		iモード設定確認
		iモード設定リセット
	ワンタッチマルチウィンドウ	
	フルブラウザホーム	

大項目	中項目	小項目
アプリ	ソフト一覧（本体）	
	アプリ（microSD）	
	アプリコール履歴	
	アプリ実行情報	
	アプリ設定	自動起動設定
		ソフト情報表示設定
		ｉウィジェット海外利用設定
		ｉウィジェット効果音設定
		オートGPS優先設定
		アプリコール機能設定
		アプリ音量設定
		アプリ音優先設定
		照明設定
		省電力設定
		バイブレータ
		アプリ設定確認
カメラ／TV／MUSIC	カメラ	HDムービー
		静止画撮影
		動画撮影
		ビューティーモード
		アートフォトモード
		メディアスビューア
	ワンセグ	ワンセグ視聴
		番組表
		視聴予約リスト
		録画予約リスト
		予約録画結果
		テレビリンク
		チャンネルリスト選択
		チャンネル設定
		ユーザ設定
	ミュージックプレーヤー	
	Music&Videoチャネル	
データBOX	マイピクチャ	
	ミュージック	
	Music&Videoチャネル	
	モーション・ムービー	
	メロディ	
	マイドキュメント	
	きせかえツール	
	マチキャラ	
	キャラ電	
	ワンセグ	
	ドキュメントビューア	
	SDその他ファイル	
便利ツール	バーコードリーダー	
	電卓	
	アラーム	
	赤外線受信	
	スケジュール	
	メモ帳	
	ToDoリスト	
	ケータイデータお預かりサービス	

大項目	中項目	小項目
便利ツール	microSD	
	Enjoy Exercise	
	メディアスリンク	
	メディアスビューア	
	ライフヒストリービューア	
	使いかたガイド	
	ボイスレコーダー	
	Bluetooth	
	おしゃべり機能	
	辞典	
	ダウンロード辞書	
	定型文／単語登録	定型文
		単語登録
	ドコモへのお問合せ	
	Wi-Fi	アクセスポイントモード
		Wi-Fi設定
電話機能	電話帳	電話帳検索
		電話帳登録
		FOMAカード（UIM操作）
		電話帳設定・確認
		電話帳画像転送
		直デン
	伝言メモ／音声メモ	メモの再生／消去
		テレビ電話メモの再生／消去
		音声メモ録音
		伝言メモ設定
	発着信履歴	発信履歴
		着信履歴
		リダイヤル
	発着信・通話設定	迷惑電話ストップ
		番号通知お願いサービス
		発信者番号通知
		通話中の着信動作
		発信詳細設定
		着信詳細設定
		通話中詳細設定
		イヤホン機能設定
		着信拒否設定
		ツータッチダイヤル設定
		Wi-Fi番号通知設定 （TTC-SIP設定時のみに有効）
	テレビ電話設定	受信画質設定
		画像選択
		音声自動再発信
		遠隔監視設定
		テレビ電話切替機能通知
		ハンズフリー切替
		パケット通信中着信設定
	通話時間・料金	通話時間・料金
		通話料金通知
		積算リセット
		積算料金自動リセット
	着もじ	
	2in1	
	メロディコール	
	留守番電話サービス	

大項目	中項目	小項目
電話機能	その他ネットワークサービス	転送でんわ
		キャッチホン
		英語ガイダンス
		遠隔操作設定
		マルチナンバー
		デュアルネットワーク
		追加サービス
		OFFICEED
本体設定	画面・ディスプレイ	きせかえツール設定
		待受画面設定
		カラーテーマ設定
		各種画面設定
		背面ディスプレイ設定
		マチキャラ設定
		ソフトキー
		オリジナルメニュー
		メニュー画面設定
		ピクチャ表示設定
		表示アイコン説明
		表示アイコン設定
		プライバシーアングル
		充電中ディスプレイ
		表示画質モード設定
		クイックインフォ設定
		インフォメーション表示設定
	音／バイブ／マナー	着信音量
		着信音選択
		その他音設定
		バイブレータ設定
		マナーモード設定
		ステレオ・3Dサウンド設定
	照明・イルミネーション	照明設定
		イルミネーション設定
	文字表示／入力	フォント設定
		文字入力機能
		Select language
	時計	メイン時計設定
		サブ時計設定
		待受時計表示
		自動電源ON
		自動電源OFF
	ロック・セキュリティ	ロック
		キー操作ロック
		顔認証設定
		シークレットモード
		シークレット専用モード
		着信拒否設定
		端末暗証番号変更
		ICカード認証設定
		PIN設定
		スキャン機能
	電池	電池残量
	タッチスタイル設定	メール自動返信
		タッチスタイル自動起動設定

大項目	中項目	小項目
本体設定	外部接続	USBモード
		Bluetooth
		イヤホンマイク
		Wi-Fi
		インターホン機能
		フェムトセル
	その他設定	サイドボタン設定
		カメラボタン設定
		ニューロポインター設定
		タッチパネル有効設定
		画面縦横自動切替
		アラーム通知設定
		セルフモード
		ライフストレージ設定
		設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新
		クイック検索接続先設定
地図／海外	地図	
	イマドコサーチ	イマドコかんたんサーチ
		イマドコサーチ
	ｉエリアー周辺情報ー	
	GPSアプリ一覧	
	現在地確認／通知	現在地確認
		現在地通知
	地図･GPS設定／履歴	位置履歴
		地図設定
		GPSボタン設定
		位置提供設定
		オートGPS
		測位モード設定
		現在地通知先登録
		サービス利用設定
		サービス利用／接続先設定
		イルミネーション／鳴動音設定
	海外ネットワークサーチ	3G／GSM切替
		ネットワークサーチ設定
		優先ネットワーク設定
		オペレータ名表示設定
		在圏状態表示
	海外設定	お問合せ（海外）
		ローミング時着信規制
		ローミング着信通知
		ローミングガイダンス
		国際ダイヤルアシスト
		iモードサービス利用設定
		メール／メッセージ利用設定
		ネットワークサービス
	海外ご利用ガイド	

大項目	中項目	小項目
ｉコンシェル		
プロフィール		
おサイフケータイ	ICカード一覧	
	DCMX	
	トルカ	
	ICカードロック設定	ICカードロック
		電源OFF時ICロック設定
	設定	トルカ設定
		放送トルカ取得設定
		IC カード通知設定
	ICオーナー確認	
	ICオーナー変更	
	ｉモードで探す	

主な仕様

本　体

項目			
品名		N-04B	
サイズ（閉じているとき）		高さ約112mm×幅約50mm×厚さ約15.9mm（最厚部約21mm）	
質量		約135g（電池パック装着時）	
連続待受時間		FOMAシングルモード	［FOMA／3G］静止時（「自動」設定時※1）：約570時間 移動時（「3G」設定時※1）：約410時間 移動時（「自動」設定時※1）：約360時間 ［GSM］静止時（「自動」設定時※1）：約270時間
		Wi-Fiシングルモード	通常プロファイル　：約360時間 ホームUプロファイル：約330時間
		DUALモード	通常プロファイル　：約250時間 ホームUプロファイル：約240時間
連続通話時間		FOMA音声電話	［FOMA／3G］音声電話時　：約200分 テレビ電話時：約100分 ［GSM］音声電話時　：約200分
		Wi-Fi音声電話	通常プロファイル パワーセーブOFF時　：約360分 パワーセーブON（Legacy）時　：約680分 パワーセーブON（U-APSD）時：約690分 ホームUプロファイル　：約340分
充電時間		ACアダプタ：約120分　DCアダプタ：約120分	
液晶部	方式	ディスプレイ：LTPS_TFT 16,777,216色 背面ディスプレイ：有機EL 1色	
	サイズ	ディスプレイ：約3.3inch　背面ディスプレイ：約0.8inch	
	画素数	ディスプレイ：409,920画素（480×854ドット） 背面ディスプレイ：3,360画素（96×35ドット）	
撮像素子	種類	内側カメラ：CMOS	外側カメラ：CMOS
	サイズ	内側カメラ：1/10.0inch	外側カメラ：1/2.5inch
	有効画素数	内側カメラ：約33万画素	外側カメラ：約1,220万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	内側カメラ：約31万画素	外側カメラ：約1,200万画素
	ズーム（デジタル）	内側カメラ：最大約1.9倍	外側カメラ：最大約9.8倍
記録部	静止画記録枚数	最大約1,800枚※2	
	静止画連続撮影	4～20枚※3	
	静止画ファイル形式	JPEG	
	動画録画時間	本体保存時：約220秒※4 microSDカード（2Gバイト）保存時：約120分※4	
	動画ファイル形式	MP4	
	ワンセグ録画時間	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約640分（合計）※5	
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション	約1,620分※6
		着うたフル®	約1,620分※6※7
		SD-Audio	約1,620分※6※7
		Windows Media Audio（WMA）ファイル	約1,740分※7
		Music&Videoチャネル	約1,980分（音声）※7 約280分（動画）
保存容量	着うた®・着うたフル®	約191Mバイト※8※9	
WLAN※10	方式	IEEE802.11b、IEEE802.11g準拠	

その他

※1：ネットワークの接続切り替え設定は、「3G ／ GSM切替」で行います。
※2：画像サイズ選択＝QVGA（320×240）、記録品質設定＝ファイン（ファイルサイズ＝25Kバイト）の場合です。
※3：画像サイズによって異なります。
※4：以下の条件での1件あたりの録画時間です。
＜本体＞
画像サイズ選択＝QCIF（176×144）、記録品質設定＝標準、ファイルサイズ設定＝2MB以下、記録種別設定＝映像＋音声
＜microSDカード（2Gバイト）＞
画像サイズ選択＝QCIF（176×144）、記録品質設定＝標準、ファイルサイズ設定＝長時間、記録種別設定＝映像＋音声
※5：放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※6：ファイル形式＝AAC形式
※7：バックグラウンド再生対応
※8：シークレットフォルダには別途最大約10Mバイトの保存容量があります。
※9：画像、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、画面メモ、ミュージック、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、インターネット動画、トルカ、ｉアプリと共有
※10：本製品のWLANはWi-Fi認証を取得しています。

電池パック

品名	電池パック N16	公称電圧	DC 3.8V
使用電池	リチウムイオン電池	公称容量	780mAh

FOMA端末の主な保存・登録・保護件数

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳		最大1,000※1	－
ワンセグ	テレビリンク	50	－
	視聴予約	100	－
	録画予約	100	－
スケジュール	スケジュール	2,500※2	－
	休日	100	－
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大2,500※3※4※5※6	最大2,500※3
	送信メール	最大1,000※3※4※5	最大500※3
	保存メール	最大200※3	－
ｉアプリ		最大200※3（メール連動型ｉアプリは5）	－
静止画		最大約1,800※3※8	－
動画／ｉモーション		最大3,500※3※7※9	－
きせかえツール		最大3,500※3※7	－
着うたフル®		約63※3	－

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：ｉスケジュールを含みます。
※3：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※4：SMSの場合は、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。
※5：シークレットフォルダには別途最大100件保存できます。
※6：「受信BOX」フォルダに保存されている「Welcome ドコモwebメール NEW」、「Welcome ドコモ動画」、「N-04Bのココがスゴイ」のメール件数を含みます。
※7：お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※8：シークレットフォルダには別途最大250件保存できます。
※9：シークレットフォルダには別途最大10件保存できます。

その他

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-04Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機N-04BのSARの値は0.486W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup/sar/
※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power

level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output. Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.42 W/kg, and when worn on the body, is 0.49 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-QMK6441.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try

to correct the interference by one or more of the following measures:
・ Reorient or relocate the receiving antenna.
・ Increase the separation between the equipment and receiver.
・ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
・ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

The product "N-04B" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2.
The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.386 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

・「FOMA」「ホームＵ」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「デコメール®」「デコメ®」「デコメアニメ®」「キャラ電」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「セキュリティスキャン」「ｉエリア」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ｉＣお引っこしサービス」「マチキャラ」「OFFICEED」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「きせかえツール」「docomo PRIME series」および「FOMA」ロゴ、「ｉＣ」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
・フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
・キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
・McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
・Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関係会社の日本国内における商標または登録商標です。
・Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved. JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
・(フェリカマーク)はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
・QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
・「ニューロポインター」「ピクトマジック」「感情お知らせメール」「みんなNらんど」「ライフヒストリービューア」「クイックインフォ」「バザールでござーる」「タッチスタイル」「コミュニケーションスタイル」「メディアスビューア」「フォト文字クリエイター」「Enjoy Exercise」「SP-VIEW」は日本電気株式会社の商標または登録商標です。
・QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
・Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
・Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
MASCOT CAPSULE®は株式会社エイチアイの登録商標です。
・PhotoSolid®、MovieSolid®、QuickPanorama™およびロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
・IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
・Googleは、Google Inc.の登録商標です。
・「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。

- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fiロゴおよび Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WMM™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance の商標です。
- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- AOSS™および、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- DLNA、DLNA認証ロゴはDigital Living Network Allianceの登録商標あるいは認定マークです。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

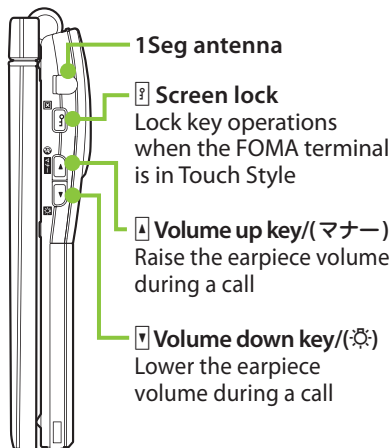
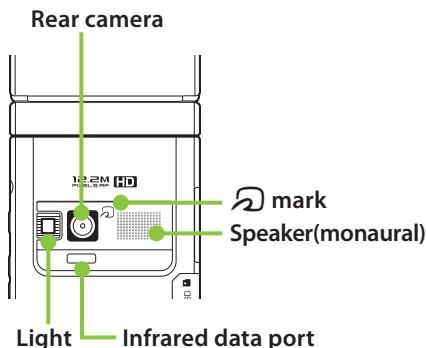
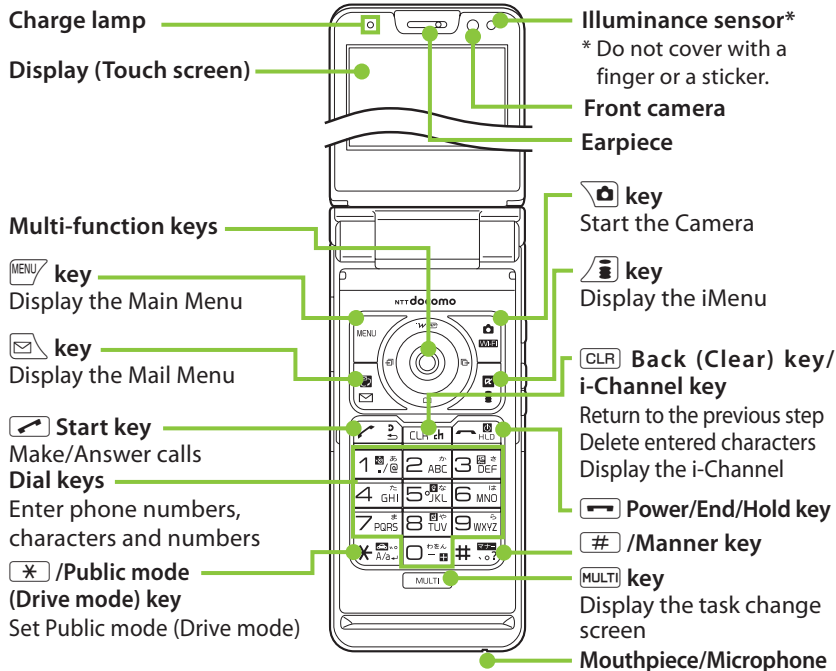
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®およびAdobe Reader® Mobile テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright© 1993-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、および Flash Lite はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  Powered by ADOBE® FLASH®
- コンテンツ所有者は、WMDRM（Windows Media digital rights management）技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright© 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
  ©2008 ACCESS CO., LTD. ALL right reserved.
  ACCESS、IrFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Living Connectを搭載しています。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。
  iWnn©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2010 All Rights Reserved.
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。

・ハイパークリアボイスはSRS Labs, Inc.よりライセンスされたSRS VIP+技術に基づき製品化されています。
SRS、VIP+、および記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
・TruMediaとDialog Clarity技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
TruMedia、Dialog Clarity、SRSと記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
・本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属のCD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
・Copyright© Ericsson, IBM, Lotus, Matsushita Communication Industrial Co., Ltd., Motorola, Nokia, Openwave Systems, Inc., Palm Inc., Psion, Starfish Software, Symbian, Ltd. (2001-2010). All Rights Reserved.
DMクライアントにかかるソフトウェア全体または一部を改変するには、特許権等を含む知的財産権にかかる許諾を第三者より受けることが必要です。著作権者は、すべての第三者の知的財産権の特定につき、いかなる方法を問わず責任を負わず、責任を持ちません。本文およびこれに含まれる情報は、「現状のまま」にて提供されるものとし、一切の保証を有しません。また、Ericsson, IBM, Lotus, 松下通信工業(現パナソニック モバイルコミュニケーションズ), Motorola, Nokia, Openwave, Palm Inc, Psion, Starfish Software, Symbianおよびその他全てのSyncML協賛者（以下「ライセンサー」といいます。）は、商品性、特定目的との適合性、第三者の権利の非侵害および取引にかかる過程または慣習からなど生じる保証も含め、明示または黙示を問わずいかなる保証も拒否します。たとえ損害賠償の可能性についてライセンサーが何らかの助言を受けていたとしても、ライセンサーは、利益逸失、営業機会損失、データ利用の損失、営業妨害その他直接的な、間接的な、特別な、付随的な、懲罰的な、または派生的なまたは本文およびこれに含まれる情報に関連するいかなる種類の損害に関し、一切責任を負いません。
・本製品は、データ放送BMLブラウザとして、株式会社ACCESSのNetFront DTV Profile Wireless Editionを搭載しています。
本製品は、放送コンテンツ起動機能として、株式会社ACCESSのMedia:/メディアコロン仕様を採用しています。
Copyright© 1996-2010 ACCESS CO., LTD.
ACCESS、NetFront及びMedia:/メディアコロンは、株式会社ACCESSの日本国またはその他の国における商標または登録商標です。
・フレーム補間機能には株式会社モルフォのFrameSolid™を採用しております。
FrameSolid™は株式会社モルフォの商標です。
・Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
・本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
Copyright ©2006-2010, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
・本製品は抗菌加工を施しております。
抗菌対象箇所は、携帯電話ボディ（ディスプレイ、各種ボタン、端子部除く）
無機抗菌剤・塗装・JP0122112A0003N
SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
・©1986-2010 NBGI
・©2004-2009 NBGI
・©Q Entertainment Inc.
・©2004 BANDAI/NBGI
・©Primeworks/catalyst mobile
・©ATR-Trek Co.,Ltd.
・©MTI Ltd.
・©駅探
・©2009 Konami Sports & Life

Windowsの表記について

・本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

English (Quick Manual)

その他

Adding to phonebook

① **MENU ➜ "TEL function" ➜ "Phonebook" ➜ "Add to phonebook"**

- To add data from Received calls
  On the standby screen ➜ ⦾ ➜ Select Received calls ➜ MENU (Submenu) ➜ "Add to phonebook"
- To add data from Redial
  On the standby screen ➜ ⦾ ➜ Select Redial ➜ MENU (Submenu) ➜ "Add to phonebook"

② **Select the destination ➜ Enter a name ➜ Check the reading of the name ➜ ◉ (Set)**

③ **Select items and enter them**

Group (01 - 19, No group)
<Group> ➜ Select a group
Phone number (up to 5)
<Phone number> ➜ Enter phone number ➜ Select an icon
Mail address (up to 5)
<Mail address> ➜ Enter mail address ➜ Select an icon
Address
<Address> ➜ Enter zip code ➜ Enter address
Location information
<Loc. info> ➜ Add location information
Birthday
<Birthday> ➜ Enter birthday ➜ Set reminder
Memorandums
<Memo> ➜ Enter memo
Image
<Image> ➜ Take a photo or select an image
Chara-den
<Chara-den> ➜ Select Chara-den
Memory number (000 - 999)
No ➜ Enter memory No.

④ **(Finish)**

Only name, reading, group, phone number and mail address can be added to a UIM.

Editing/Deleting phonebook data

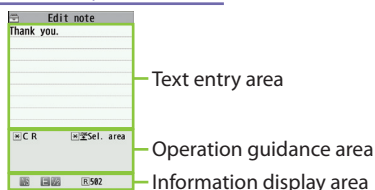
Edit phonebook data

Open the Phonebook detail screen ➜ MENU (Submenu) ➜ "Edit phonebook" ➜ Edit the items if necessary ➜ (Finish) ➜ "YES" (For the UIM, press (Finish) and select "Overwrite" ➜ "YES")

Delete phonebook data

Open the Phonebook list screen ➜ MENU (Submenu) ➜ "Delete data" ➜ "Delete this" ➜ "YES"

Entering text

Text entry (edit) screen

Input mode

漢 … Kanji/Hiragana
カ … Katakana
E … Alphabet
123 … Number
区 … Kuten code

Switch text entry modes

(Chrct) (1 second or longer)
The modes switch as follows:
5-touch ➜ 2-touch ➜ T9 input

Enter dakuten, han-dakuten

＊ (once or more)

Enter punctuation marks

＃ (once or more)

Switch to kanji/hiragana, katakana, alphabet or number mode

➜ Select input mode

Enter pictograms, symbols, face marks, URL

(PI・SB) ➜ Press or to change tabs ➜ Select pictograms, etc. (In case of pictograms or symbols, press CLR after entering)

Clear character

その他

Use ✥ to move the cursor to the character to clear ➜ CLR

Enter space

MENU (Submenu) ➜ "Space"
◎ (Only when the cursor is at the end of the text)

Insert a line feed

＊
◎ (Only when the cursor is at the end of the text)

Switch the upper case/lower case of entered text

＊

Entering "携帯" on Note

Text entry (edit) screen

MENU ➜ "Tool" ➜ "Note" ➜ 📷 (Edit) ➜ ✉ ➜ Select input mode ➜ Activate Kanji/Hiragana input mode ➜

け ➜ 2 four times, い ➜ 1 twice,
た ➜ 4 once, い ➜ 1 twice

Text conversion

(CHG) ➜ ◎ ➜ ✥ ➜ Select "携帯" from the candidates

Camera

Photo mode

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "Camera" ➜ "Still image shooting" ➜ ◉ (Shoot) ➜ ◉ (Save)

Continuous mode

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "Camera" ➜ "Still image shooting" ➜ MENU (Submenu) ➜ "CHG camera-mode" ➜ "Continuous mode" ➜ "Auto" or "Manual" ➜ ◉ (Cont./Shoot) ➜ MENU (Submenu) ➜ Select saving method

Movie mode

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "Camera" ➜ "Movie shooting" ➜ ◉ (Record) ➜ ◉ (Stop) ➜ ◉ (Save)

1Seg

Register channel list

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "1Seg" ➜ "Channel setting" ➜ "Select area" ➜ Select an area ➜ Select prefecture ➜ "YES"

Switch the channel list

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "1Seg" ➜ "Channel list" ➜ Select a channel list

Watch 1Seg

MENU ➜ "CAMERA/TV/MUSIC" ➜ "1Seg" ➜ "Activate 1Seg"

Record 1Seg

Press ◉ (1 second or longer) while watching 1Seg: record 1Seg
Press ◉ while recording 1Seg : stop recording
Press ◉ while watching 1Seg : capture 1Seg

Viewing photo, Playing moving picture/melody

Display a photo

MENU ➜ "Data box" ➜ "My picture" ➜ Select folder ➜ Select photo

Play a moving picture

MENU ➜ "Data box" ➜ "i-motion/Movie" ➜ Select folder ➜ Select moving picture

Play melody

MENU ➜ "Data box" ➜ "Melody" ➜ Select folder ➜ Select melody

Using the music player

Play music

MENU ➜ "Data box" ➜ "MUSIC" ➜ Select folder ➜ Highlight a track ➜ 📷 (Play)

Making/Receiving videophone calls

Make a videophone call

Enter a phone number ➜ 📷 (V.phone) ➜ Press ⏎ after talking

Receive a videophone call

When the ring tone sounds and the incoming call lamp flashes, press ✆ or ◉ (Subst.) ➜ Press ⏎ after talking

✆ : Send your camera image to the caller
◉ (Subst.) : Send your substitute image to the caller

During a call

📷 : Switch handsfree (ON/OFF)

その他

i-mode mail

Composing/Sending i-mode mail

Open the New mail screen

✉ ➜ ✉(New)

Enter an address

"To <No address>" ➜ Enter an address

Enter a subject

"Subject <No subject>" ➜ Enter a subject

Enter the main text

"🖹 <No message>" ➜ Enter the main text

Send mail

📷 (Send)

Attaching files

Attach an image, i-motion, melody, PDF, document, ToruCa, or other data

Open the New mail screen ➜ (Att.) ➜ Select an item ➜ Select a folder ➜ Select data

Receiving i-mode mail

"✉" flashes ➜ Received results screen appears ➜ Select "New"

Other mail functions

Reply to mail

Open mail to reply to ➜ 📷 (Reply) ➜ "🖹" ➜ Enter main text ➜ 📷 (Send)

Forward mail

Open mail to forward ➜ MENU (Submenu) ➜ "Reply/Forward" ➜ "Forward" ➜ "To" ➜ Enter a mail address ➜ 📷 (Send)

Check new messages

✉ (1 second or longer)

Network Services

Voice mail Service

Activate

MENU ➜ "TEL function" ➜ "Voice mail service" ➜ "Activate" ➜ "YES" ➜ "YES" ➜ Enter the ring time (seconds)

Deactivate

MENU ➜ "TEL function" ➜ "Voice mail service" ➜ "Deactivate" ➜ "YES"

Play messages

MENU ➜ "TEL function" ➜ "Voice mail service" ➜ "Play messages" ➜ "Play (voice call)" or "Play (videophone)" ➜ "YES" ➜ Follow the voice instructions

Call waiting

Activate

MENU ➜ "TEL function" ➜ "Other network serv." ➜ "Call waiting" ➜ "Activate" ➜ "YES"

Deactivate

MENU ➜ "TEL function" ➜ "Other network serv." ➜ "Call waiting" ➜ "Deactivate" ➜ "YES"

Answer another incoming call

Press 📞 to switch to incoming call
To switch the calls, press 📞.

Call forwarding Service

Activate

MENU ➜ "TEL function" ➜ "Other network serv." ➜ "Call forwarding" ➜ "Activate" ➜ Set a forwarding number and the ring time, then select "Activate" ➜ "YES"

Deactivate

MENU ➜ "TEL function" ➜ "Other network serv." ➜ "Call forwarding" ➜ "Deactivate" ➜ "YES"

Service available for the FOMA terminal

Service	Number
Directory assistance (pay : service charge + call charge)*1	(No area code) 104
Telegram (pay: telegram charge)	(No area code) 115
Time (pay)	(No area code) 117
Weather (pay)	Area code for weather forecast you want + 177
Police emergency*2	(No area code) 110
Fire brigade/Ambulance emergency*2	(No area code) 119
Maritime distress call	(No area code) 118
Emergency Message Recording System (pay)	(No area code) 171
Collect call (pay: service charge + call charge)	(No area code) 106

*1 : Unlisted phone numbers cannot be given.

*2 : Depending on the area you are calling from, you may not be connected with the nearest police or fire department. In this case, dial from a public or general subscriber phone.

Main icons

- : Battery level
- : FOMA signal strength
- : Wi-Fi signal strength
- : Appears when you are out of FOMA/Wi-Fi service area
- : i-mode in progress
- : Unread mail
- : During a voice call
- : Dial lock
- : i-concier information
- : Using Multitask
- : Bluetooth
- : microSD card inserted
- : Vibrator set
- : Ring volume set to “Silent”
- : Manner mode set
- : Public mode (Drive mode) set
- : Alarm set
- : Voice Mail message
- : Record VP message set
- : eco mode1 “ON”
- : eco mode2 “ON”
- : Keypad lock set/ready
- : USB cable connected in communication mode

For Overseas Use

Making a call

Making a call to outside your destination country (including Japan)

■ Make a call by dialing from the country code

On the standby screen, dial + (0 (1 second or longer)) ➜ Country code* ➜ Area code (City code) ➜ The other party's phone number ➜ [call key] or [camera key] (V.phone)

* The country code for Japan is 81.

Making a local call in the country of stay

Dial the other party's phone number ➜ [call key] or [camera key] (V.phone)

Receiving a call

When you receive a voice/videophone call, press [call key].

After returning to Japan

When you return to Japan and turn on the power, the network will be automatically searched and connected to the FOMA network (DOCOMO).

■ Re-search the connectable operator

MENU ➜ “Map/Overseas” ➜ “Overseas NW search” ➜ “Network search setting” ➜ “Network re-search”

When select “Manual”, select an operator.

その他

Inquiries

General Inquiries (docomo Information Center)

(Business hours : 9:00a.m. to 8:00p.m.)

■ From DOCOMO mobile phones (In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

＊ Unavailable from land-line phones, etc.

(Business hours : 9:00a.m. to 9:00p.m.)

■ From land-line phones (In English)

0120-005-250 (toll free)

＊ Available from mobile phones and PHSs.(including non-DOCOMO phones).

＊ Unavailable from part of IP phones.

Repairs

(Business hours : 24 hours(open year round))

■ From DOCOMO mobile phones (In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

＊ Unavailable from land-line phones, etc.

(Business hours : 24 hours(open year round))

■ From land-line phones (In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

＊ Available from mobile phones and PHSs.(including non-DOCOMO phones).

＊ Unavailable from part of IP phones.

● Please confirm the phone number before you dial.

● For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the abovementioned information center or the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website or the i-mode site.

▶ NTT DOCOMO website http://www.nttdocomo.co.jp/english/

▶ i-mode site iMenu⇒お客様サポート (user support)⇒ドコモショップ(docomo Shop)　＊In Japanese only

Loss or theft FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas

<docomo Information Center> (available 24 hours a day)

■ From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay

-81-3-6832-6600* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

＊ If you use N-04B, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

■ From land-line phones <Universal number>

International prefix number for the universal number

-8000120-0151*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

<Lost & Stolen>

■ Omakase Lock

• Charges will incur for application for Omakase Lock. Application is free if made at the same time as application for service suspension or during service suspension.

Set/Release Omakase Lock

0120-524-360

(Business hours : 24 hours(open year round))

(in Japanese only)

＊ Available from mobile phones and PHSs. (including non-DOCOMO phones).

＊ Unavailable from part of IP phones.

* Omakase Lock can be set/released from the My docomo site on a PC, etc.

Failures encountered overseas

<Network Operation Center> (available 24 hours a day)

■ From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay

-81-3-6718-1414* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

＊ If you use N-04B, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

■ From land-line phones <Universal number>

International prefix number for the universal number

-8005931-8600*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

索引

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

ｉモードから	**ｉMenu ⇒お客様サポート⇒お申込・お手続き⇒各種お申込・お手続き** **パケット通信料無料**
パソコンから	**My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き**

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーも一緒に携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は周囲の心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

・航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

・運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して、撮影や画像送信を行う際はプライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。
よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

・この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHS（他社）からもご利用いただけます。

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00〜午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHS（他社）からもご利用いただけます。

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-04Bから、ご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-04Bから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社

Li-ion00 環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

再生紙を使用しています

'10.5（2版）
MDT-000139-JAA0

N-04B パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

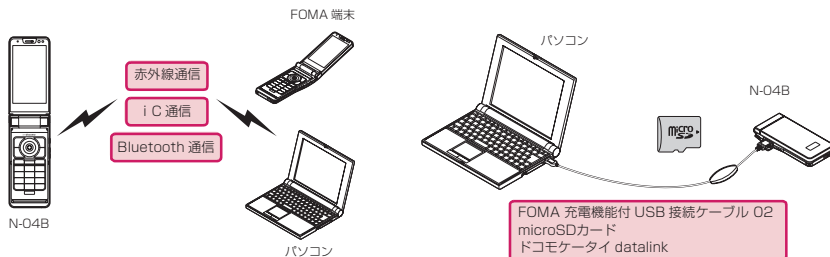
本マニュアルでは、N-04Bでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、付属のCD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

データ転送（OBEX™通信）

画像や電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され※1、FOMAハイスピードエリアでは受信最大7.2Mbps※2、送信最大5.7Mbps※2の高速通信を行うことができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。

- ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」でパケット通信をご利用のときは、通信速度が遅くなる場合があります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

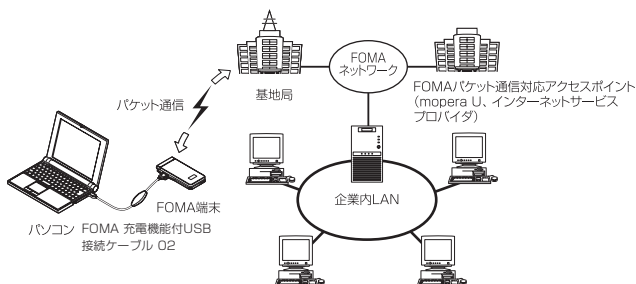
FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。

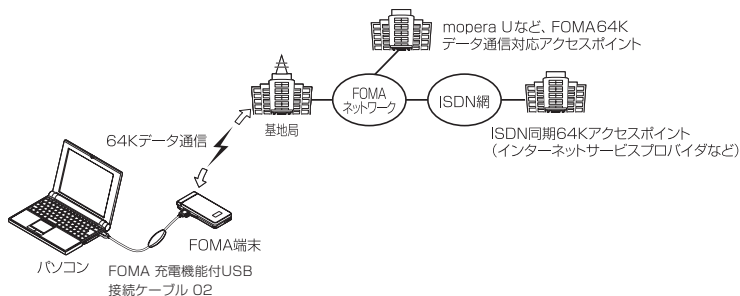
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）やBluetooth通信※3、Wi-Fi接続を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

※1：データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

※2：技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。また、FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなる場合があります。

※3：Bluetooth接続の場合、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64K データ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64K アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02やBluetooth通信を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

おしらせ

- 海外やFOMAサービスエリア外では、パケット通信は受信最大384kbps、送信最大64kbpsとなります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。
- Wi-Fi接続を利用してパケット通信を行う場合は、PPP接続で通信を行ってください（IP接続ではパケット通信できません）。
- 海外で64Kデータ通信はご利用になれません。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証では FirstPass（ユーザ証明書）が必要です。ドコモのホームページからFirstPass PCソフトをダウンロードし、インストール、設定を行ってください。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件について

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です（日本国内で通信を行う場合です）。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を利用できるパソコンであること。
- FOMAサービスエリア内であること。
- パケット通信の場合は接続先がFOMAのパケット通信に対応していること。
- 64Kデータ通信の場合は接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること。

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を使用する場合：USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠） • Bluetooth通信を使用する場合：Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） • Wi-Fi接続を使用する場合：無線LAN標準規格IEEE 802.11bまたはIEEE 802.11g準拠 • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows XP（日本語版） • Windows Vista（日本語版） • Windows 7（日本語版）
必要メモリ※2	• Windows XP：128Mバイト以上 • Windows Vista：512Mバイト以上 • Windows 7（32ビット）：1Gバイト以上 • Windows 7（64ビット）：2Gバイト以上
ハードディスク容量※2	• 5Mバイト以上の空き容量 ※ ドコモ コネクションマネージャは10Mバイト以上の空き容量

※1 ： OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2 ： パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

● 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。
● メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 7.0以降です（Windows XPの場合、推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 6.0以降です）。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ① Windows 7の場合は「 」→「コンピューター」を開く
  Windows Vistaの場合は「 」→「コンピュータ」を開く
  Windows XPの場合は「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  ② CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
  ③「index.html」をダブルクリックする
● CD-ROM をパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

おしらせ

● FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。
● FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
● FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
•「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」（別売）または「FOMA USB接続ケーブル」（別売）※
• 付属のCD-ROM「N-04B用CD-ROM」
※：USB接続の場合

おしらせ

● USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
● USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■「N-04B用CD-ROM」について

● FOMA通信設定ファイル（ドライバ）、ドコモ コネクションマネージャが入っています。

● FOMA通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX™通信）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。FOMA通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
ドコモ コネクションマネージャを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

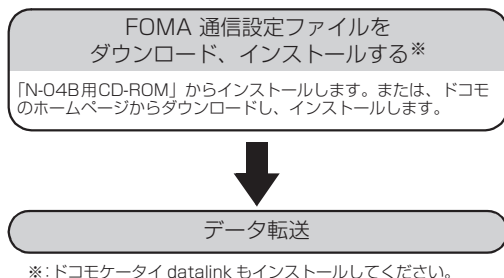
■データ転送（OBEX™通信）の場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA 通信設定ファイルを
ダウンロード、インストールする※

「N-04B用CD-ROM」からインストールします。または、ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。

データ転送

※：ドコモケータイ datalink もインストールしてください。

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

USB接続の場合

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のダウンロード、インストール／パソコンとの接続

- FOMA通信設定ファイルを「N-04B用CD-ROM」からインストールします。または、ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。→P.9
- パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続します。→P.7

↓

インストール後の確認をする（P.11）

Bluetooth接続の場合

パソコンとFOMA端末をBluetooth通信でワイヤレス接続する（P.13）

↓

モデムを確認する（P.13）

＜ドコモ コネクションマネージャを使って接続先の設定をする場合＞

↓

ドコモ コネクションマネージャのインストール

- ドコモ コネクションマネージャを使えるようにします。「ドコモ コネクションマネージャをインストールする」→P.18

↓

設定する

- mopera U※
- その他のプロバイダ

↓

接続と切断

- 接続します。→P.21
- 切断します。→P.21

＜ドコモ コネクションマネージャを使わない場合＞

↓

設定する

- ドコモ コネクションマネージャを使わずに通信の設定をします。→P.22

↓

接続と切断

- 接続します。→P.36
- 切断します。→P.37

※： FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

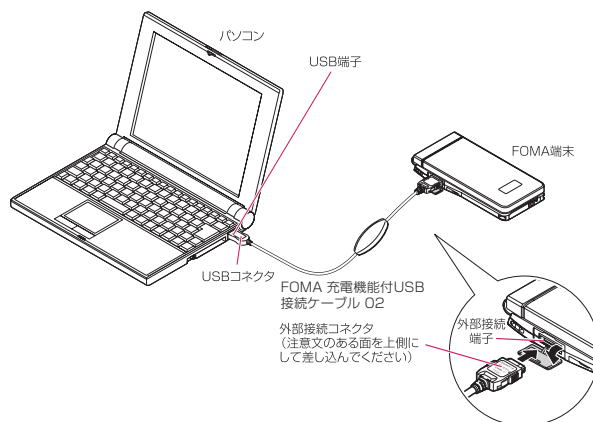
Wi-Fi接続の場合（パケット通信のみ）

USBモードを「通信モード」にする

● パソコンに取り付ける前に設定してください。
● Bluetooth接続やWi-Fi接続を利用する場合は、設定を行う必要はありません。

1 MENU ▶「本体設定」▶「外部接続」▶「USBモード」▶「通信モード」

取り付け方法

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の外部接続コネクタを水平に「カチッ」と音がするまで差し込む

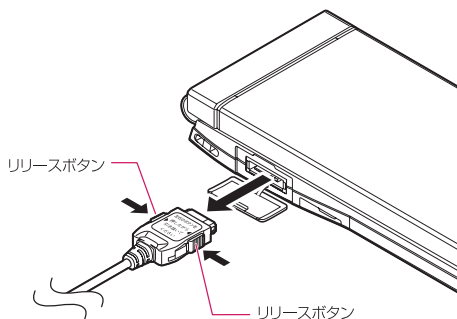
3 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続するとFOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA端末に表示される「 」は、FOMA通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。

取り外し方法

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）の取り外し方法について説明します。

1 パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を引き抜く

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜く

3 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の取り付け・取り外しを連続して行うと、FOMA端末がパソコンに正しく認識できなくなることがありますので間隔をおいて行ってください。
- 通信の切断・誤動作・データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の取り外しは行わないでください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の外部接続コネクタをFOMA端末の外部接続端子から引き抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

ここでは、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール手順を説明します。

- FOMA通信設定ファイルをインストールする前に、他のプログラムが実行中でないことを確認し、実行中のプログラムがある場合には終了してください。※
- FOMA通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- FOMA通信設定ファイルはドコモのホームページからダウンロードすることもできます。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を使用して接続するとき以外は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要はありません。

※：ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているソフトも終了してください。
例：タスクバーに表示されているアイコンをクリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。

1 Windowsを起動して、「N-04B用CD-ROM」をパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。
表示されない場合は、「動作環境」（P.4）の●2つ目を参照してください。

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の項目で、ご利用のパソコンのOSをクリックする

FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）が格納されているフォルダが自動的に表示されます。

4 表示されたフォルダをダブルクリックする

フォルダ名はOSによって異なります。
　Windows 7（32ビット）の場合：Win7_32
　Windows 7（64ビット）の場合：Win7_64
　Windows Vista（32ビット）の場合：WinVista32
　Windows Vista（64ビット）の場合：WinVista64
　Windows XPの場合：Win_XP

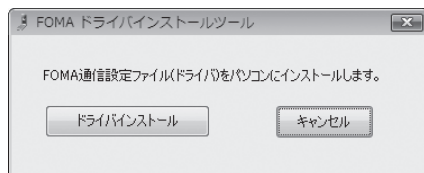
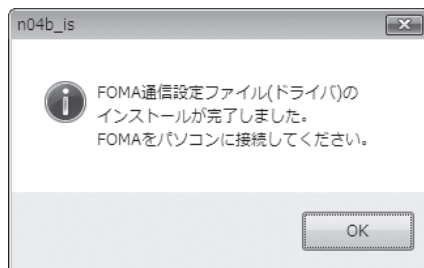
5 「n04b_is.exe」をダブルクリックする

お使いのパソコンの設定によっては「n04b_is」と表示されることがあります。

6 ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、Windows 7の場合は「はい」を、Windows Vistaの場合は「続行」または「許可」をクリックする

Windows XPの場合、ユーザーアカウント制御画面は表示されません。

7 「ドライバインストール」をクリックする

インストールがはじまります。

8 右の画面が表示されたら、「OK」をクリックする

9 FOMA端末の電源を入れて、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）をFOMA端末に接続する

10 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をパソコンのUSB端子に接続する

パソコンのタスクバーのインジケータにメッセージが表示され、インストールがはじまります。メッセージをクリックしてインストールの進行状況を表示します。

11 右の画面が表示された場合は、「閉じる」をクリックする

4種類のドライバが表示されていれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.11）に進みます。

インストールしたドライバを確認する

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。
ここではWindows 7を例にして説明します。

1 「（スタートボタン）」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合
「スタート」→「コントロールパネル」を選択

2 コントロールパネル内の「システムとセキュリティ」を開く

Windows Vistaの場合
コントロールパネル内の「システムとメンテナンス」を開く

Windows XPの場合
「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

3 「デバイスマネージャー」を選択する

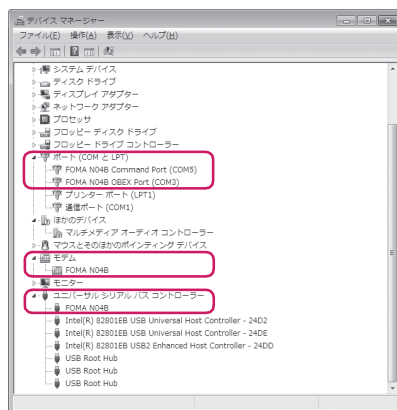
ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

Windows Vistaの場合
「デバイスマネージャ」を選択する
ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、「続行」をクリックします。

Windows XPの場合
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」※または「USB（Universal Serial Bus）コントローラー」※の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

※：Windows VistaおよびWindows XPでは、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」と表示されます。

デバイス名	ドライバ名
ポート（COMとLPT）	• FOMA N04B Command Port • FOMA N04B OBEX Port
モデム	• FOMA N04B
ユニバーサルシリアルバスコントローラーまたは USB （Universal Serial Bus）コントローラー	• FOMA N04B

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、アンインストール（P.12）の手順に従ってFOMA通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（ドライバをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows 7とWindows Vistaを例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末とパソコンを接続している状態では、アンインストールを実行できません。
- FOMA通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外す

2 Windowsの「プログラムと機能」を起動する

「 」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリックする

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックする

3 「FOMA N04B USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリックし、「続行」をクリックする

Windows XPの場合

「FOMA N04B USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

4 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムと機能」に「FOMA N04B USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①「N-04B用CD-ROM」をパソコンにセットする
  ②Windows 7の場合は「 」→「コンピューター」を開く
  Windows Vistaの場合は「 」→「コンピュータ」を開く
  Windows XPの場合は「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  ③CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
  ④Windows 7（32ビット）の場合はCD-ROM内の「N04B_driver_win7_32」→「Win7_32」フォルダを開く
  Windows 7（64ビット）の場合は「N04B_driver_win7_64」→「Win7_64」フォルダを開く
  Windows Vista（32ビット）の場合は「N04B_driver_vista32」→「WinVista32」フォルダを開く
  Windows Vista（64ビット）の場合は「N04B_driver_vista64」→「WinVista64」フォルダを開く
  Windows XPの場合は「N04B_driver_win_xp」→「Win_XP」フォルダを開く
  ⑤「n04b_un.exe」※をダブルクリックする
  ※：お使いのパソコンの設定によっては「n04b_un」と表示されることがあります。

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続し、データ通信を行います。

パソコンをFOMA端末に登録し接続する

はじめてFOMA端末に接続するパソコンの場合、パソコンをFOMA端末に登録します。

1 MENU▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「ダイヤルアップ登録待機」

FOMA端末が接続待機状態となり、ディスプレイに「(青色)」が点灯します。
約5分間接続がなかった場合は、自動的に接続待機は解除されます。

2 パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録を行う

FOMA端末が接続待機中に、パソコンで機器登録を行ってください。
パソコンの操作方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください(ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています)。

3 FOMA端末に機器登録するかどうかのメッセージが表示されたら「YES」

4 Bluetoothパスキーを入力▶◉[確定]

パソコンが機器登録され、パソコンとFOMA端末がワイヤレスで接続されます。接続が完了するとディスプレイに「(青色)」が点滅します。

■ 登録済のパソコンと接続する場合

FOMA端末から「ダイヤルアップ登録待機」を選択後、パソコンから接続操作を行うと、FOMA端末に接続できます。

「便利ツール」の「Bluetooth」から「接続待機」を選択し、「ダイヤルアップ」を接続待機状態にしているときにパソコンから接続操作を行った場合も接続可能です。

モデムを確認する

通信の設定を行う前に、ご使用になるモデム名やダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認します。

1 「」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」を選択

2 コントロールパネル内の「システムとセキュリティ」を開く

Windows Vistaの場合

コントロールパネル内の「システムとメンテナンス」を開く

Windows XPの場合

「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

3 「デバイスマネージャー」を選択する

ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

Windows Vistaの場合

「デバイスマネージャ」を選択する
ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、「続行」をクリックします。

Windows XPの場合

「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてモデム名またはCOMポート番号を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されています。

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

接続中のダイヤルアップ通信サービスを停止します。

1 MENU▶「便利ツール」▶「Bluetooth」▶「登録機器リスト」

2 接続中のBluetooth機器を選択▶「ダイヤルアップ」▶「YES」

Wi-Fi機能対応パソコンに接続する

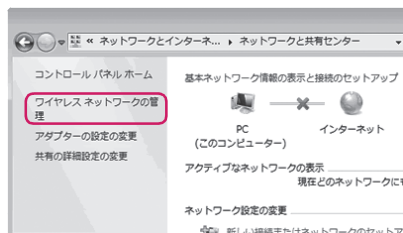
FOMA端末をアクセスポイントとすることで、Wi-Fi機能対応パソコンとWi-Fi接続しパケット通信を行うことができます。

● あらかじめFOMA端末をアクセスポイントモードにしておく必要があります。アクセスポイントモードにする方法やアクセスポイントモード設定については、FOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

＜例：Windows 7の場合＞

1 「」→「コントロールパネル」を選択

2 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択

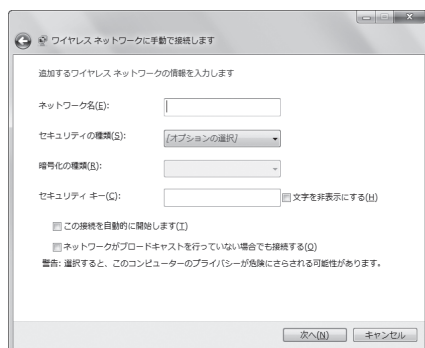
3 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックする

4 「追加」をクリックする

5 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」を選択する

6 「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」に、N-04Bに設定されているESSID、セキュリティ方式をそれぞれ設定し、「次へ」をクリックする

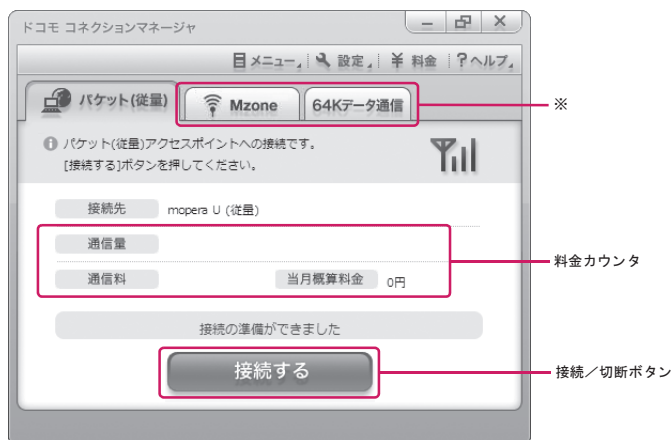
「セキュリティの種類」の「WPA2-パーソナル」は「WPA2-PSK」と同じ意味です。

N-04Bに暗号化機能が設定されている場合

「暗号化の種類」、「セキュリティキー」をN-04Bと同じ設定にします。

7 「閉じる」をクリックする

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uのお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。

また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

※： 初期設定では表示されません。詳しくは「ドコモ コネクションマネージャのヘルプ」をご覧ください。

本書では、ドコモ コネクションマネージャのインストール方法までをご案内いたします。

おしらせ

- FOMA端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ(mopera Uなど)のご契約が必要です。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

従量データ通信（ｉモードパケット定額サービスなど含む）のご利用について

「パケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。
なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSB接続ケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」の定額対象外通信となりますのでご注意ください。

定額データプランのご利用について

定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランやインターネットサービスプロバイダのご契約が必要です。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

moperaのご利用について

接続設定方法についてはmoperaのホームページをご覧ください。
http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

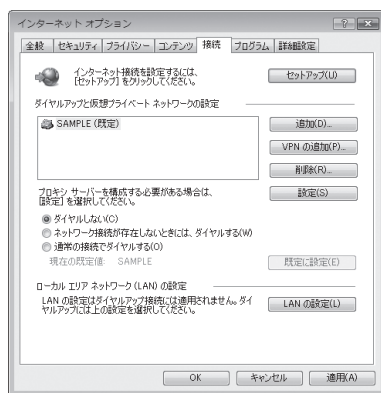
ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

● ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、以下を確認してください。
①FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意する
②サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する
③ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更する
「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」→P.17

● Internet Explorerの設定について

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定をしてください。

1 Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」を開く

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」を選択する

3 「OK」をクリックする

● ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

● ドコモ コネクションマネージャには、以下のソフトと同様の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。
- mopera Uかんたんスタート
- U かんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

● ドコモ コネクションマネージャでMzone（公衆無線LAN接続）を利用する場合は、以下の公衆無線LAN接続ソフトをアンインストールしてください。以下のソフトを同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。
- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

おしらせ

● Windows XPで、MSXML6・Wireless LAN APIが環境にない場合は、ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、それらをインストールする必要があります。インストール時に確認の画面が表示されたときは「Install」をクリックして、MSXML6・Wireless LAN APIをインストールしてください。
MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールがはじまります。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

- 「ドコモ コネクションマネージャ」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストールを開始する前に、現在使用中または常駐している他のプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、終了してからインストールを行ってください。

1 CD-ROMをパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。
表示されない場合は、「動作環境」（P.4）の●2つ目を参照してください。

2 「インターネット接続」をクリックする

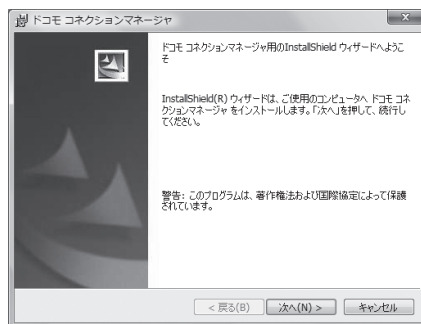
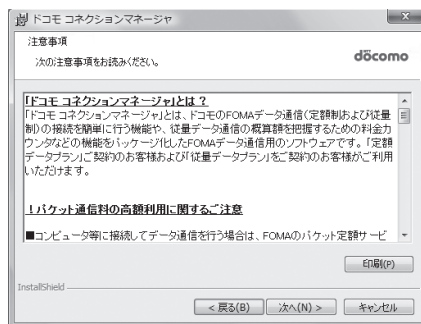
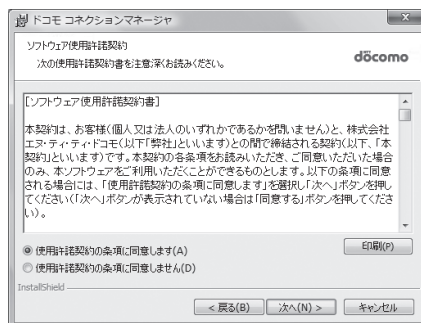
3 「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の項目の「③ドコモ コネクションマネージャのインストール」の「インストール」をクリックする

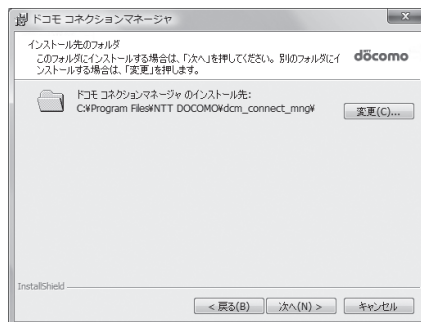
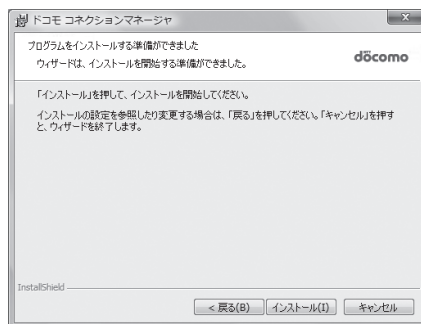
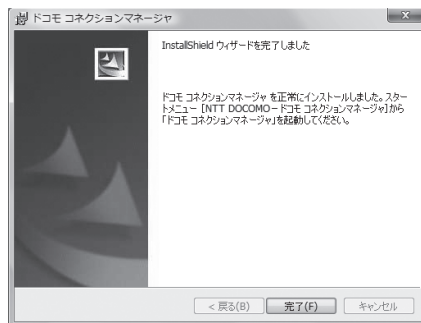
4 Windows 7の場合は「はい」を、Windows Vistaの場合は「続行」をクリックする

Windows XPの場合、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。すぐにセットアッププログラムが起動します。

Windows 7の場合

Windows Vistaの場合

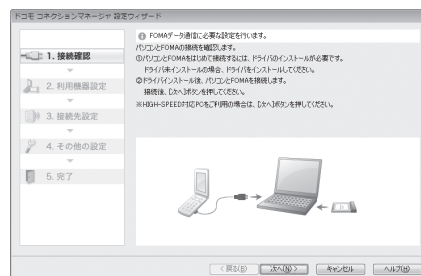
5 「次へ」をクリックする

6 注意事項を確認し、「次へ」をクリックする

7 使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする

8 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「変更」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。

9 「インストール」をクリックする

10 「完了」をクリックする

ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 ドコモ コネクションマネージャを開く

「[Windowsボタン]」または「スタート」→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」の順に開く

2 設定ウィザードに従い設定を行う

はじめて起動したときには、自動的に設定ウィザードが表示されます。
以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。
詳しくは「ドコモ コネクションマネージャ 操作マニュアル」をご覧ください。

設定した通信を実行する

1 ドコモ コネクションマネージャを開く

「ドコモ コネクションマネージャを起動する」→P.20

2 目的の通信の種類のタブをクリックし、「接続する」をクリックする

詳しくは「ドコモ コネクションマネージャ 操作マニュアル」をご覧ください。
接続できない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.22）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.29）を確認してください。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送信中）
（通信中、データ受信中）
（通信中、データ送受信なし）
（発信中、または切断中）
（着信中、または切断中）

● 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）でデータ通信をする場合、異なるFOMA端末を接続するときは、再度、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要となります。

切断のしかた

インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
通信をご利用にならない場合は、必ず以下の操作で通信を切断してください。

1 ドコモ コネクションマネージャから「切断する」をクリックする

2 「OK」をクリックする

おしらせ

● OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると、自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。
● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

ダイヤルアップネットワークの設定

ドコモ コネクションマネージャを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。以下のような流れになります。

- 64Kデータ通信を行う場合は「ダイヤルアップネットワークの設定」は不要です。「ダイヤルアップの設定を行う」（P.29）に進んでください。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

接続先（APN）の設定を行う場合、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA N04B」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.25）で使用します。

● 準備

ここではFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用した場合を例にして説明します。Bluetooth通信で接続する場合はP.13を参照してください。

1. FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を接続する
2. FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をパソコンに接続する

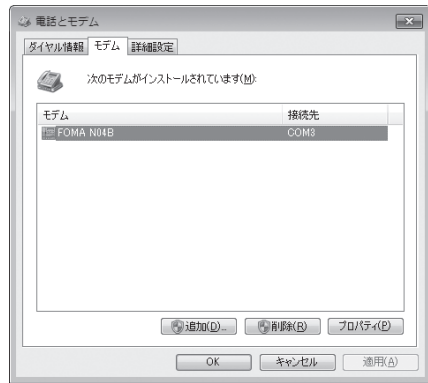
● Windows 7でCOMポートを確認する場合

1. 「 」→「コントロールパネル」を開く
2. コントロールパネル内の「デバイスとプリンターの表示」を開く
3. 「docomo PRIME series N-04B」を右クリックして、「モデムの設定」を選択する
4. 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

5 「モデム」タブをクリックして「FOMA N04B」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.25）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows VistaでCOMポートを確認する場合

1 「　」→「コントロールパネル」を開く

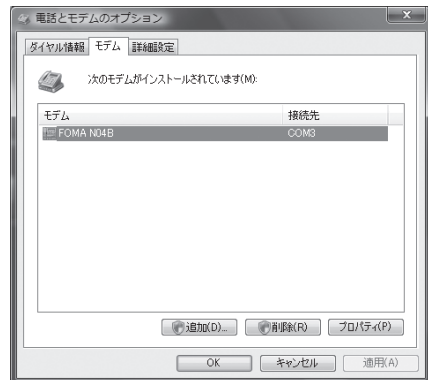
2 コントロールパネル内の「ハードウェアとサウンド」→「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

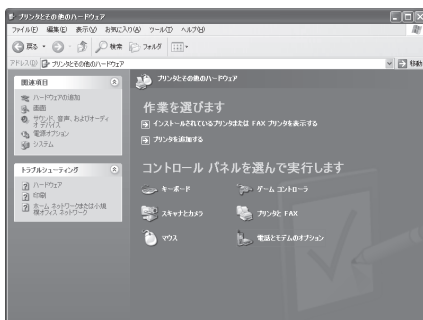
4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N04B」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.25）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N04B」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.25）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp（PPP） cid2：mopera.net（PPP） cid3：mopera.net（IP） cid4：mpr.ex-pkt.net（PPP） cid5～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows XP標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

● Windows 7およびWindows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7およびWindows Vistaの場合は、Windows 7およびWindows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先について<APN/cid>

● パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPNを設定して接続します。
● APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid2、3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が、cid4にはmopera Uの接続先（APN）「mpr.ex-pkt.net」が登録されていますので、cid5～10に接続先（APN）を設定してください。※1
● APNは「cid（1～10までの管理番号）」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊<cid番号>#」とするとcid番号の接続先に接続します。
● moperaに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」に、mopera Uに接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」にすると、簡単にmoperaまたはmopera Uを利用することができます。※2
● APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		―	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○（ドコモ コネクションマネージャなどを使用）	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		―	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
● mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。
※2：他のインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cidの5～10番に登録してください。

<例：Windows XPでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用する場合>

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

6 「接続方法」から「FOMA N04B」を選択し、「OK」をクリックする

接続画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックする

「FOMA N04B」のCOMポートを選択できる場合

COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする

ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA N04B」のCOMポート番号は、「COMポートを確認する」(P.22)を参照して確認してください。

「FOMA N04B」のCOM ポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

(1) 「ファイル」→「プロパティ」を選択
(2) 「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA N04B」を選択
(3) 「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す
(4) 「OK」をクリックする

7 接続先(APN)を入力し、[↵]を押す

AT+CGDCONT=<cid>, "PDP_type", "APN"の形式で入力する

<cid>：5～10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

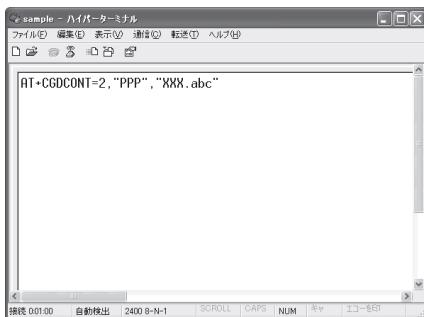
"PDP_type"："PPP"または"IP"と入力します。

"APN"：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"

[↵]と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「"sample"と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

- P.27の操作7以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、ATE1[↵]と入力すれば、以降に入力するATコマンドが表示されるようになります。
- ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合
  - リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=2、3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に、cid=4の接続先（APN）設定が「mpr.ex-pkt.net」（初期値）に戻り、cid=5～10の設定は未登録となります。

    ＜入力方法＞

    AT＋CGDCONT=[↵]（すべてのcidをリセットする場合）

    AT＋CGDCONT=〈cid〉[↵]（特定のcidのみリセットする場合）
- ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合
  - 現在の設定内容を表示させせます。

    ＜入力方法＞

    AT＋CGDCONT?[↵]

発信者番号の通知／非通知を設定する

- パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
- 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.39）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

ハイパーターミナルの起動方法については、「接続先（APN）を設定する」（P.25）を参照してください。

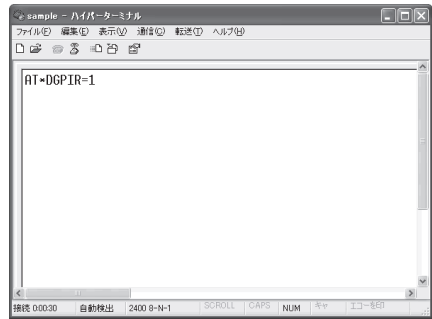
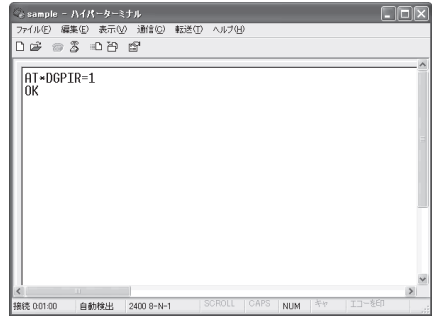
2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<*n*>」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=1 ↵
と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=2 ↵
と入力する

3 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

おしらせ

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

ダイヤルアップの設定を行う

- ここではパケット通信でmopera Uに接続する場合を例に説明しています。
- パケット通信で接続する場合、mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」、moperaでは「＊99＊＊＊1#」を接続先の電話番号に入力してください。64Kデータ通信で接続する場合、mopera Uでは「＊8701」、moperaでは「＊9601」を接続先の電話番号に入力してください。

Windows 7でダイヤルアップの設定を行う

1 「 」→「コントロールパネル」を選択

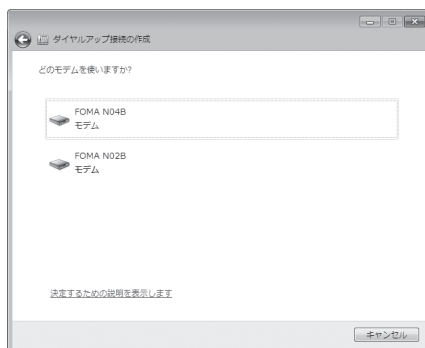
2 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択

3 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする

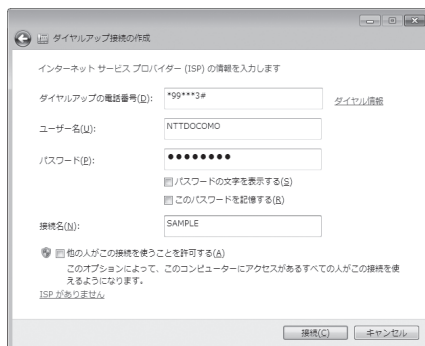
4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択し、「次へ」をクリックする

5 モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA N04Bモデム」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをクリックしてください。

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

6 「ダイヤルアップの電話番号」欄を選択し、接続先の番号を入力する

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

7 「接続」をクリックし、「スキップ」をクリックする

ここではすぐに接続せずに設定の確認のみ行います。

8 「閉じる」をクリックする

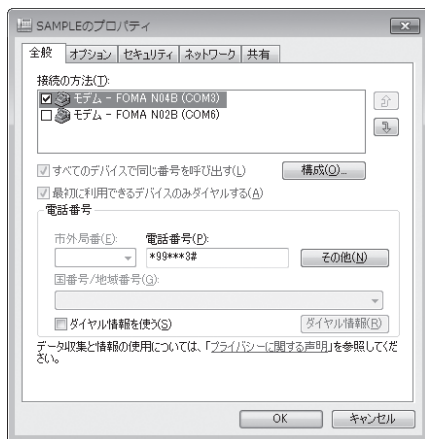
9 コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「ネットワークに接続」をクリックする

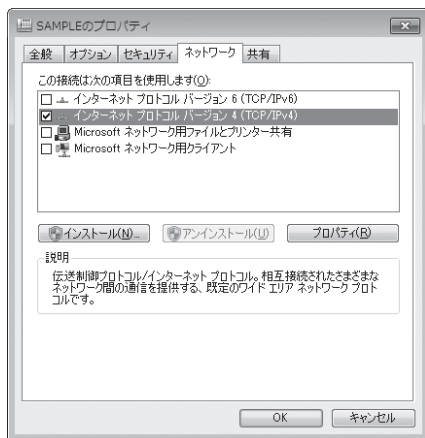
10 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

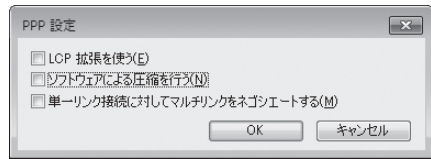
11 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続しているときは、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N04B」のみにチェックが付いていることを確認します。
Bluetooth通信でワイヤレス接続しているときは、「接続の方法」欄で「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたは Bluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」のみにチェックが付いていることを確認します。
チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

12 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」のみにチェックを付けます。

13 「オプション」タブをクリックし、「PPP設定」をクリックする

14 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

15 「OK」をクリックする

Windows Vistaでダイヤルアップの設定を行う

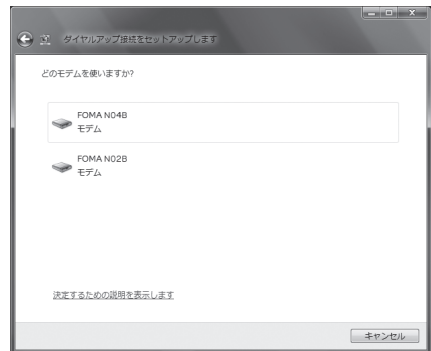
1 「(Windowsボタン)」→「接続先」を開く

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

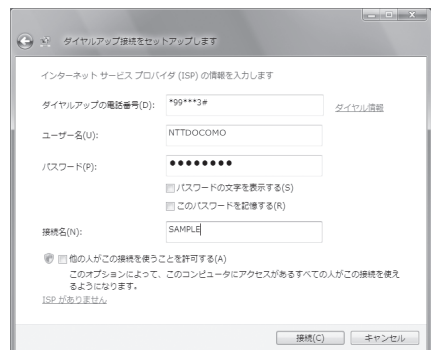
3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択し、「次へ」をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA N04Bモデム」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをクリックしてください。

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 「ダイヤルアップの電話番号」欄を選択し、接続先の番号を入力する

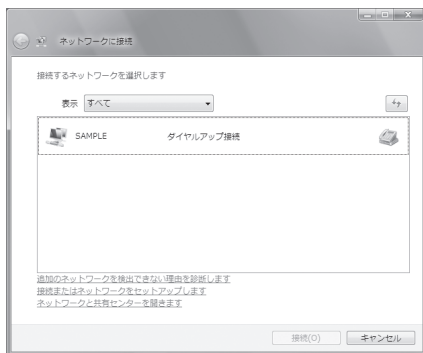
mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

6 「接続」をクリックし、「スキップ」をクリックする

ここではすぐに接続せずに設定の確認のみ行います。

7 「接続をセットアップします」をクリックし、「閉じる」をクリックする

8 「 」→「接続先」を開く

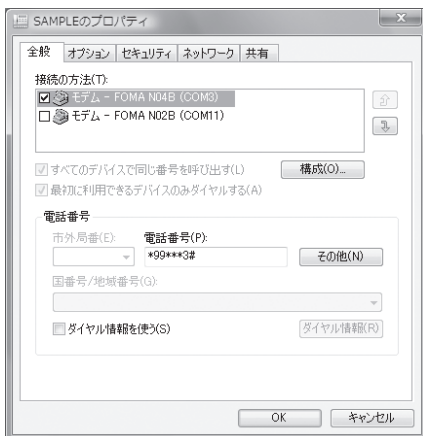
9 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

10 「全般」タブで設定を確認する

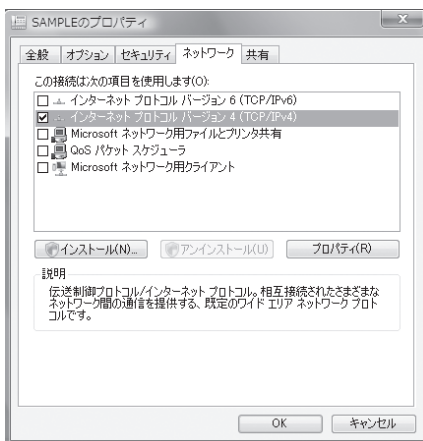
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合

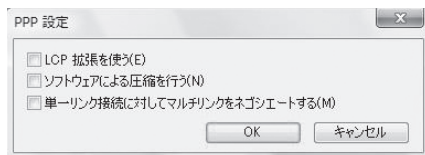
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続しているときは、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N04B」のみにチェックが付いていることを確認します。

Bluetooth通信でワイヤレス接続しているときは、「接続の方法」欄で「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth 機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」のみにチェックが付いていることを確認します。

チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

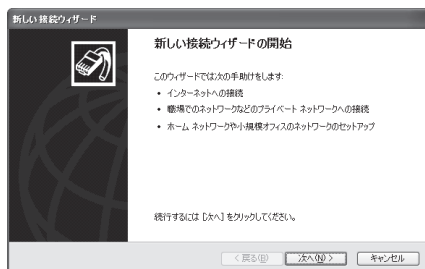
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

11 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」のみにチェックを付けます。ご利用になるプロバイダの指示がある場合は、「QoS パケットスケジューラ」および、その他の項目にチェックを付けます。

12 「オプション」タブをクリックし、「PPP設定」をクリックする

13 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

14 「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

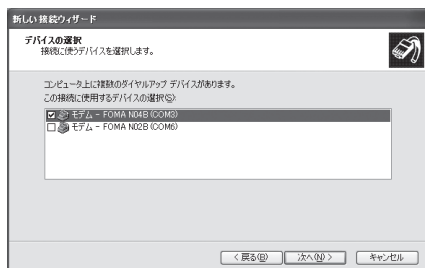
2 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA N04B (COMx)」のみを選択し、「次へ」をクリックする

Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみを選択してください。

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
(COMx) は、「COMポートを確認する」(P.22) で表示されるCOMポートの番号です。

7 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

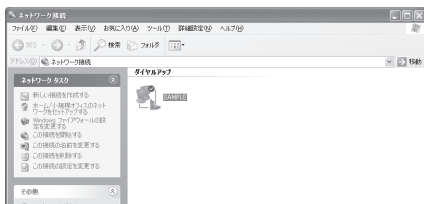
9 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10 「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

11 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続しているときは、「接続方法」欄で「モデム－FOMA N04B」のみにチェックが付いていることを確認します。
Bluetooth通信でワイヤレス接続しているときは、「接続方法」欄で「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」のみにチェックが付いていることを確認します。
チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

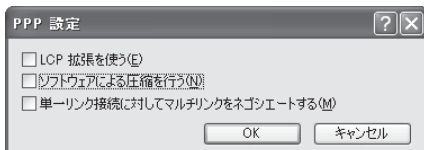
画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

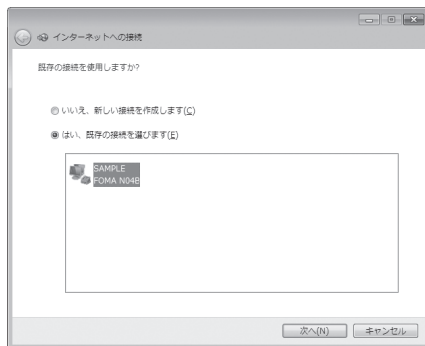
ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

＜例：Windows 7でFOMA 充電機能付USBケーブル 02を利用する場合＞

1 **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）でFOMA端末とパソコンを接続する**

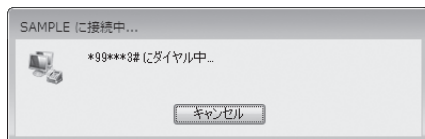
「取り付け方法」→P.7

2 **「 」→「コントロールパネル」→「インターネットへの接続」を開く**

3 **接続先を選択して「次へ」をクリックする**

4 **内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする**

右の画面はmopera Uに接続する場合の例です。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。

＜接続中の状態を示す画面が表示されます＞

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

<接続の完了>

接続が完了すると、接続完了画面が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください（OSによってはデスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、接続したことを通知するメッセージが数秒間表示されます）。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
接続できない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」(P.22)、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.29）を再度確認してください。
通信状態については、P.21を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows 7を例に説明します。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

インターネット接続の状態画面が表示されます。

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

● ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「N-04B」がパソコン上で認識できない	・ お使いのパソコンが動作環境（P.4）を満たしているかを確認してください。 ・ FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 <FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を使用する場合> ・ FOMA通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ USBモード（P.7）が「通信モード」になっているか確認してください。 <Bluetooth通信を使用する場合> ・ Bluetooth機器がダイヤルアップ通信サービスで接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・ 接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・ モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・ 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。 ・ 上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

● ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[＆F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[＆W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。
● 外部機器から発信･ATコマンド発信を行った場合、Aモード／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N04B（モデム）で使用できるコマンドです。
● Bluetooth接続で実行する場合、「:」の後ろに半角スペースが付いてリザルトが表示されます。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	−	A/ OK
AT	−	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*＝0：CDは常にON *n*＝1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON ／OFF遷移したときの動作を選択します。	*n*＝0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） *n*＝1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる *n*＝2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&E*n* [&F] [&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	*n*＝0：無線区間通信速度を表示する *n*＝1：DTE　シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F＝? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*＝0：DRは常にON（初期値） *n*＝1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*=0 のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W=? ERROR
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	0：FOMA端末の電波の受信レベルが圏外と表示される状態 1：FOMA端末の電波の受信レベルが0本または1本の状態 2：FOMA端末の電波の受信レベルが2本の状態 3：FOMA端末の電波の受信レベルが3本の状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*=0：着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*=1：着信拒否設定を有効にする *n*=2：着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*=1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL =0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL =1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*=1 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL =0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL =1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます（P.27）。	*n*=0：APNをそのまま使用する（初期値） *n*=1：APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） *n*=2：APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR =0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	―	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CAOC	現在の課金値の問い合わせを行います。	―	AT+CAOC +CAOC:"000014" OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルト：+CBC:<bcs>,<bcl> bcs： 0：電池パックから電源が供給されている 1：電池パックから電源が供給されていない 2：FOMA 端末に電池パックが接続されていない 3：電源供給エラーによりFOMA端末からの発信不可 bcl： 0：電池残量なし、または電池パック未接続 1～100：電池残量あり	AT+CBC +CBC:0,70 OK AT+CBC? ERROR AT+CBC=? +CBC:(0-3),(0-100) OK
AT+CBST [&F] [&W]	利用するベアラサービスを切り替えます。	書式：AT+CBST=<*n*>,1,0 *n*=116：64,000 bps(bit transparent)（初期値） *n*=134：64,000 bps (multimedia)	AT+CBST=134,1,0 OK AT+CBST? +CBST:134,1,0 OK AT+CBST=? +CBST:(116,134),(1),(0) OK
AT+CDIP=*n* [&F] [&W]	着信時に、着サブアドレスを通知するかどうかを設定します。マルチナンバー契約状態を問い合わせます。	*n*=0：着サブアドレスを通知しない(初期値) *n*=1：着サブアドレスを通知する AT+CDIP? ：現在の設定値を表示する +CDIP:*n*,*m* *m*=0：マルチナンバー未契約 *m*=1：マルチナンバー契約中 *m*=2：不明	AT+CDIP=0 OK AT+CDIP? +CDIP:0,1 OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	リザルト：+CEER:<report> report：切断理由一覧（P.51）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.48	P.48
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	P.48	P.48
AT+CGEQREQ	PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P.49	P.49
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG：<*n*>,<stat> *n*：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK（通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG:（0,1） OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIP=*n* [&F] [&W]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*=0： リザルトを出さない(初期値) *n*=1： リザルトを出す AT+CLIP? ：現在の設定値を表示する +CLIP:*n*,*m* *m*=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 *m*=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK (+CLIP=1設定時に着信) RING +CLIP:"090XXXXXXXX",177,"123",136
AT+CLIR=*n*	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*=0： CLIRサービスの契約に従う *n*=1： 通話相手に番号発信しない *n*=2： 通話相手に番号発信する(初期値) AT+CLIR? ：現在の設定値を表示する +CLIR:*n*,*m* *m*=0： CLIRは起動していない（常時通知） *m*=1：CLIRは起動している（常時非通知） *m*=2：不明 *m*=3：CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*=4：CLIRテンポラリーモード (通知デフォルト)	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*=0： ERRORリザルトを用いる (初期値) *n*=1： +CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*=2 ：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE?：現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは以下のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	リザルト：+CNUM:,<number>,<type> number：電話番号 type ： 129または145 129 ： 国際アクセスコード+を含まない 145 ： 国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+COPS	接続する通信事業者を選択します。	書式：AT+COPS=<mode>,2,<oper> mode=0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） mode=1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） mode=2：通信事業者との接続を解除（切断）する mode=3：マッピングを行わない mode=4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示す。書式は以下のとおりです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8.	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,,,"44F001"),(3,,,"44F002"),,(0,1,3),(2) OK
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	リザルト：+CPAS:＜pas＞ pas： 0：FOMA端末への制御信号の送受信が可能 1：FOMA 端末への制御信号の送受信が不可能 2：不明(制御信号の送受信は保証されない) 3：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ着信中 4：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS? ERROR AT+CPAS=? +CPAS:(0-4)

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式 ： AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード、PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態（PIN1ロック解除コード入力可） +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態（PIN2ロック解除コード入力可） 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678", "1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUKが応答される状態:PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0： 表示しない（初期値） *n*=1： 表示する <serv> ： パケット通信を意味する“GPRS”のみ表示する（回線種別により“SYNC”，“AV64K”を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0： +CRINGを使用しない（初期値） *n*=1： +CRING.<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおりです。 +CRING：SYNC +CRING：AV64K ： GPRS “PPP”,,,“<APN>” AT+CRC? ： 現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (PPPoverUD着信時) +CRING：SYNC (AV64K着信時) +CRING：AV64K (PPPパケット着信時) +CRING：GPRS “PPP”,,,“〈APN〉”

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 • OSによっては設定できない場合があります。	*n*=0： 通知なし（初期値） *n*=1： 通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat ： 0 ：音声圏外 1 ：音声圏内 4 ：不明 5 ：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG ：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG ：1
AT+CUSD [&F] [&W]	付加サービス等に関し、ネットワークの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	書式：AT+CUSD=<n>,"<str>"[,0] *n*=0： 中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出しない（初期値） *n*=1： 中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト： *m*=0：設定完了 *m*=1：ネットワークから情報要求あり。 str ：0～9、#、＊のみ使用可能。 <str>は""で囲む	AT+CUSD=0,"xxxxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0 +CUSD:0,"148＊7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD =? +CUSD:(0,1) OK
AT+FCLASS=*n* [&F] [&W]	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	*n*=0： データのみサポート（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート範囲を表示します。	リザルト：+GCAP:<area>,<area>,<area> area： +CGSM ：GSMコマンドの一部またはすべてがサポートされている +FCLASS：+FCLASSコマンドがサポートされている +W ：+Wコマンドがサポートされている	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	メーカ名を表示します。	－	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMA N04B）を表示します。	－	AT+GMM FOMA N04B OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n*,*m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	*n* ： DCE by DTE *m* ： DTE by DCE 0： フロー制御なし 1： XON／XOFFフロー制御 2： RS／CS（RTS/CTS）フロー制御 初期値は*n*,*m* =2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2) ,(0,1,2) OK
AT+WS46	FOMA端末の無線通信モードを表示します。	12：GSM/GPRS固定モード 22：3G固定モード 25：Autoモード	AT+WS46? 25 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	−	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V*n* [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	*n*=0： 拡張リザルトコードを使用しない（初期値） *n*=1： 拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid>#　：パケット通信 <cid> 1 〜 10：+ CGDCONT 設定したAPNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：64K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：AV64K通信	＜パケット通信＞ ATD＊99＊＊＊1# CONNECT ＜64K通信＞ AT+CBST=116,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT ＜AV64K通信＞ AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATE*n* [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*=0 ：エコーバックなし *n*=1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n*	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	*n*=0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATI*n*	認識コードを表示します。	*n*=0：「NTT DoCoMo」を表示する *n*=1： 製品名を表示する（+GMMと同じ） *n*=2： FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） *n*= 3： ACMP信号の各要素を表示する *n*= 4： FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA N04B OK
ATO*n*	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*=0： オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQ*n* [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*=0 ：リザルトコードを表示する（初期値） *n*=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=*n* [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*=0 ：自動着信しない（初期値） *n*= 1- 255： 指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43　：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効 ATS2?　：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13　：初期値（*n*=13のみ指定可） ATS3?　：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*=10　：初期値（*n*=10のみ指定可） ATS4?　：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*=8　　：初期値（*n*=8のみ指定可） ATS5?　：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=*n* [&F]	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	*n*=0：不活動タイマオフ(初期値) *n*=0～255 *n*は分単位で設定します。	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR
ATS103=*n* [&F]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：＊ *n*=1：/（初期値） *n*=2：¥（¥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS104=*n* [&F]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：# *n*=1：%（初期値） *n*=2：&	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0：リザルトコードを数値で返送する *n*=1：リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	−	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移ります。	−	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT=[パラメータ]

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※1: 1～10
<PDP_type>※2: PPPまたはIP
<APN>※3: 任意
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=2、3にはmopera.net が、<cid>=4にはmpr.ex-pkt.netが初期値として登録されていますので、cidは5～10に設定します。
※2：<PDP_type> は、接続方式です。FOMA 端末は PPP または IP を指定できます。<cid>=1、2、4 にはPPPが、<cid>=3にはIPが初期値として登録されています。なお、アクセスポイントモードの接続先として使用する場合はPPPを指定します。
※3：<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=: すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid>: 指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?: 設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?: 現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"
OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※1 ：1～10
<Maximum bitrate UL>※2: なし（初期値）または5,760
<Maximum bitrate DL>※2: なし（初期値）または7,232
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
※2：<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最大通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、5,760および7,232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQMIN=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**

以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。

(1) 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5
OK

(2) 上り5,760kbps/下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,5760,7232
OK

(3) 上り5,760kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが7の場合）
AT+CGEQMIN=7,,5760
OK

(4) 上りすべての速度/下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが8の場合）
AT+CGEQMIN=8,,,7232
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・**概要**

PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・**書式**

+CGEQREQ=[<cid>]

・**パラメータ説明**

<cid>※：1～10
※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。

・**パラメータを省略した場合の動作**

+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQREQ=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**

以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り5,760kbps/下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQREQ=5
OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.25）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定およびAT+CLIRコマンドによる64Kデータ通信発信時の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、［&W］が付いているコマンドについては、設定後に

AT&W ↵

と入力することにより保存できます。このとき、［&W］が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、

ATZ ↵

と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。
133	CONNECT 3648000	FOMA端末－基地局間速度3,648,000bpsで接続しました。
135	CONNECT 7232000	FOMA端末－基地局間速度7,232,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

- ATV*n*コマンド（P.47）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）やBluetooth通信で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥V*n*コマンド（P.45）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET ＜接続先APN＞ / ＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞ / ＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞
以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大5,760kbps、受信最大7,232kbpsで接続したことを表します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/5760/7232

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26 27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

区点コード一覧

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

- 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
						さ				
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
						し				
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
						す				
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
						せ				
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
						そ				
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
						た				
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
						ち				
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
						つ				
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
						て				
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
						と				
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
						な				
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
						に				
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
						ぬ～の				
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
						は				
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
						ひ				
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
						ふ				
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
						へ				
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
						ほ				
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			